

日本医師アマチュア無線連盟会報

No.62

巻 頭 言

会長 東 條 純 一 (JH3AEF)

明けましておめでとうございます。

年末からの記録的な寒波で、雪国の各局にはご苦労の多いことと存じます。どうかご自愛いただきますようお願い申し上げます。かなり昔の話になりますが、昭和38年は記録的な豪雪の年だったように記憶しておりましたが、今シーズンはそれを超え史上最多を記録した地方もあるとのこと、温暖な地方に住む私には想像もつきません。

そんな中、7、8、そして0からは、耳を疑わんばかりの力強い電波で連日 DX 局を呼ぶのが聞こえてきます。中にはヴァーチカルの局もあるのですが、深雪の中でも立派に働いているのだなあ、給電部は高い位置にあるのかな、雪に埋もれていても働くのかな、と感心して聞いております。それにしても最近の MDNET は、BANDCONDX が両バンドとも思うにまかせず大困りです。3.5MHz までつながらないのも珍しいことですが、こればかりは如何ともしがたく、CONDX の回復を気長に待つしかないようです。

さて永らく検討が続けられてまいりました PLC 高速電力線搬送通信問題ですが残念ながら

実施の方向に動きつつあるようです。17年度には12回の研究会とパブコメが実施され、その結果を元にして以下の二項が結論として公表されております。PLC と無線利用は共存の道を求めてゆく。必要に応じて許容値や測定法は見直すこととする。工学屋集団が導いたハード面での結論ですが、われわれはソフト面での影響について今後も注意深く見守る必要があるのではないのでしょうか。

この寒い冬が終わりました4月には楽しい総会がやってきます。今年は足の便の良い横浜総会です。こぞってのお出かけをお待ちいたしております。

さて、かねてお約束のとおり、今年度をもちまして私の任期は終了とさせていただきますことになりました。したがって、これが最後の巻頭言となってしまうました。拙い舵取りでございましたが会員そして役員の皆々様の絶大なるご協力をいただき、3期6年を大過なく過ごさせていただきましたことを心より感謝申し上げますところがあります。有難うございました。

MARS 会員都道府県別分類

(J A 1)	21局			山 口 県	なし			
東 京 都	JA1FF	JA1BOW	JR1VUF	(J A 5)	3局			
	JF1SXY	JK1AIN	JL1BGP	香 川 県	なし			
	JP1HIS	<u>JH7WKU</u>	<u>JR9FQO</u>	徳 島 県	JA5GPJ	JA5POS		
神 奈 川 県	JH1IAA			愛 媛 県	なし			
埼 玉 県	JR1CDJ	JR1JIC	JE1MMK	高 知 県	JH5KAJ			
	JL1LRJ	<u>JA3HQ</u>		(J A 6)	7局			
茨 城 県	J11VAH			福 岡 県	JA6BMB	JA6RQK	JH6IBM	
群 馬 県	JA1KXT	JR1SJD			JE6DGW	JG6DAO		
千 葉 県	JM1BIX			大 分 県	JR6JIZ			
栃 木 県	JF1EJS	JO1RTV		熊 本 県	なし			
山 梨 県	なし			宮 崎 県	なし			
(J A 2)	10局			鹿 児 島 県	なし			
愛 知 県	JA2DQH	JH2QBQ	JR2AXV	佐 賀 県	JR6EZJ			
	JG2XEJ			長 崎 県	なし			
静 岡 県	JA2BIV	JE2ANG	JE2KKI	沖 縄 県	なし			
	JO2DBR			(J A 7)	22局			
岐 阜 県	JO2IXU			青 森 県	JA7VAB	JR7BWP		
三 重 県	JR2IZO			秋 田 県	JH7MSL	JE7MMC		
(J A 3)	37局			岩 手 県	JA7AOM	JA7PPA	JH7IIR	
京 都 府	JA3ARY	JA3ASU	JH3SQE		JH7OLB	JH7XGQ	JR7QWT	
	JH3SQM	JH3SQN	JH3SRC		JE7EDF	JG7CRJ		
	JR3HFS	JR3HGY	JR3HHM	山 形 県	なし			
	JR3JJQ	JF3ITN	JF3NXJ	宮 城 県	JA7EVM	JH7CAI	JH7EQW	
大 阪 府	JA3BQT	JA3CRZ	JA3LDH		JH7QFA	JR7CAD	JM7USW	
	JA3WKF	JH3AEF	JH3MWR	福 島 県	JA7FHH	JA7RTM	JE7GFM	
	JR3KBI	JR3LJI	JR3MCI		JJ7BRL			
	JE3RZA	JF3EKP	JJ3MIG	(J A 8)	6局			
	JL3SIK				JA8FOH	JA8JDQ	JA8RSJ	
滋 賀 県	JF3PMG	大塚博紀			JH8AEM	JR8XPV	J18MLV	
兵 庫 県	JA3XED	JH3GOB		(J A 9)	3局			
奈 良 県	JE3UDD			富 山 県	なし			
和 歌 山 県	JH3TCC	JR3SIK	JF3JON	石 川 県	なし			
	J13CIN	JJ3KUL	JM3BCQ	福 井 県	JA9SN	JH9HDD	JE9RWF	
	JN3ASW			(J A 0)	4局			
(J A 4)	5局			新 潟 県	JA0CEP	JA0HGN	JH0LME	
岡 山 県	JH4TIC	JE4EWM(exJA5LDZ)			JE0BWH			
	JG4JFW			長 野 県	なし			
広 島 県	JH4DPL	JH4UYB						
鳥 取 県	なし							
島 根 県	なし							

は他エリアからの移動局

計 118 局 (2006 年1月現在)

第 30 回 MARS (横浜) 総会のご案内

日 時 平成18年4月8日(土)
 受 付 午後4時から
 会 場 オリエントホテル横浜海洋亭

〒220-0031 横浜市西区宮崎町58-1

JR 京浜東北線、横浜市営地下鉄 桜木町駅 徒歩7分

MM 線 みなとみらい駅 徒歩10分

TEL045-243-1122

総 会 午後5時～6時

講 演 会 午後6時～7時

懇 親 会 中華街 予定

エクスカーション 4月9日(日) 横浜界限

午後4時30分～5時 JR 横浜、新横浜にて逐次解散

同封の参加申し込み用紙にてお申し込みをお待ちいたしております。

交通至便の地です。多数の皆様のご参加をお待ちいたしております。

日本医師アマチュア無線連盟(MARS)の活動と入会方法について

MARS は、1977 年(昭和 52 年)に創設された
 ドクターハムの親睦のための団体で、すでに 29
 年の歴史を持ち、次のような活動を行っている。

- 1) 総会と懇親会
 毎年4月の第一土曜日の午後、全国各地で
 総会と懇親会を開催している。
- 2) 毎水曜日の朝、3.5 及び 7MHz 帯でロールコ
 ール(MD ネット)を行っている。
- 3) 日本医師アマチュア無線連盟会報(MARS
 ニュース)を年2回発行している。
- 4) MARS 医学アワードおよび MARS 医学アワ
 ードIIの発行。
- 5) クラブ局(JM1ZZM)を設置している。

6) MARS のホームページを開設している。

URL は <http://www.jmars.jp/>

(談話室へのパスワードは mars)

事務局:

〒577-0058 東大阪市足代北 1-16-20

東條医院内

日本医師アマチュア無線連盟

電 話 06-6781-0076

F A X 06-6781-0078

E-mail jaef.tojo@nifty.com

会費 : 入会金 5,000 円、年会費 8,000 円

入会方法: 事務局にご連絡下されば、入会書
 類をお送りします。

会長 東條純一(JH3AEF)

平成17年度MDネットの概要

JA1KXT 相田信男(群馬県)、JR2IZO 中村 仁(三重県)

MDネットは毎週水曜日 3.5MHz 帯(3.568MHz 付近)と7MHz 帯(7.060MHz 付近)で行っています

●3.5MHz 帯のMDネットは AM05:30～06:30 JA1KXT(相田 Dr)がキー局となり行なわれました

MDネット回数 52 回、参加局 15局、延参加局366局、平均7局/回

参加局 カッコは参加回数

JR3HGY(50), JR2IZO(49), JH7QFA(49), JA1KXT(48), JH3AEF(45), JH3GOB(36), JL1LRJ(23), JR1VUF(19), JA7RTM(19), JA7VAB(15), JO2IXU(4), JE0BWH(4), JR1CDJ(2), JF1SXY(1), JF3NXJ(1)

3.5MHz のMDネットのコンディションは1～2月中頃までは近距離スキップで6時15分頃より全局M5になった

3～4月はコンディションが良くすべてM5で入感。

5月頃より遠距離スキップ。6～8月は空電ノイズが多く遠くの局はM3、

9～10月はすべてM5、

11月頃よりレーダーノイズ、近距離スキップで交信不能で、6時20分頃より聞こえ出すことが多かった。

●7MHz のMDネットは AM06:30～07:00 JR2IZO(中村 Dr)がキー局となり行なわれました

MDネット回数 52 回、参加局 25 局、延参加

局534局、平均10.3局/回

参加局 カッコは参加回数

JR2IZO(48), JR3HGY(47), JH3AEF(46), JH3GOB(46), JH7QFA(46), JA7VAB(39), JA1FF(29), JL1BGP(28), JA1KXT(26), JL1LRJ(26), JR1CDJ(25), JA7AOM(25), JF3JON(20), JE0BWH(14), JE6EZJ(11), JR1VUF(10), JH2QBQ(6), JF1EJS(5), JA3ARY(4), JH6IBM(6), JA2BIV(2), JA3ASU(2), JH3TCC(1), JA3LDH(1), JF3NXJ(1),

7MHz のMDネットのコンディションは1～3月は7時前に7エリアの局のみM5で入感したが、その他のエリアはM3と悪く“7MHzはJH7QFA 局しか聞こえず JH3GOB(3/23)。” JA7VAB, JA7AOM, JH7QFA 局から呼んでいただき MD ネットを開催することができた。

3月末頃より1エリアの局が聞こえ出す“今まで30分間ワッチしても何も聞こえなかったが、久しぶりにみなさんの声がきこえてきました。明けましておめでとうございます JL1BGP3月16日、すごいですね 今日 皆さん59です JA1FF4月6日”。

5月～9月は太陽フレアの影響でコンディションが悪く不安定だった“先週の7MHz のMDネットはQRMが酷くあっちこっちワッチしたが分からなかった JR3HGY(5/11)。先週の7MHzはワッチしていたがわからなかった JL1BGP(7/27)”。

10月頃より1, 3エリアがスキップすることが多くなり、“7時頃になり59になりました JR1CDJ

(10/26)。6:47に59になりました JR1CDJ (11/15)”。

このように今年の7MHz のコンディションは悪

く不安定で全エリア M5で QSO できたのは4月6日と20日、5月18日と25日、6月1日、7月6日、8月17日と31日の8日だった。

平成17年度MDネット参加局の近況

JA1KXT 相田信男、JR2IZO 中村 仁

JA1FF: すごいですね 今日 皆さん59です。沖縄では空調をかけたまま寝込んでしまい風邪をひいてしまった。5月には剣に登ります(4/6)。QRMM でわかりません(4/13)。連休は天気が心配。LRJさん ウコッケイをつぶす会をやりましょうか？(4/20)。5月のGWは剣岳に行った。源次郎尾根から剣沢まで12時間かかってへとへとになった(5/11)。昨日は雷さんと雨でびっくり(5/25)。今日の 7MHz は近距離スキップで1エリアは苦しい(6/1)。捻挫でびっこをひいている(6/8)。音をたてて雨がふっている(6/22)。ARYさん、コンディションが良いのでちょくちょく出てください(7/6)。23日の地震のときは伊豆に遊びに行っていたが、大した被害は無かった。夏休みにはシャモニーにロッククライミングの予定(7/27)。連休はほうおう三山を歩いてきた。19日はテントの中でダンゴを食べながら月見をした(9/21)。PCのHDDが壊れデータが無くなってしまった。住所録も0からやり直しです(9/28)。QRMMで1エリアは全部つぶされている(10/19)。A型インフルエンザの患者が出ました(11/30)。

JA1KXT: あけましておめでとうございます。本年もよろしく(1/5)。雪が1cmくらい積もっています(2/2)。インフルエンザが大流行している。今年も予防接種はあまり効かなかったようだ。

今朝はインフルエンザ対策のため早く出かけます(2/9)。今朝震度3の地震があつて扉の中でコーヒークップがガチャガチャ踊っていたが割れなかった。2匹の愛犬が肥満細胞腫に罹り、来週は大学病院に連れて行きます(2/16)。今週末に頼まれた学会の教育講演と言う少しまじめなイベントの用意に手間取ってます。臨床を終えてから(無論吞んでから)取り掛かるので夜中にかかって四苦八苦しています。すみませんが今週も水曜日休みます。何卒宜しくお願い致します(2/21e-mail)。

Ham関係のニュース特になし。三頭のうち二頭の犬の癌治療始まりました。この通院が結構大変ですが、妙に穏やかな時間でもあつて、不思議です。暖かいかと思っていると雪も殆ど融けました。が、また今朝などひどく寒かったです。VABさんは大雪大丈夫でしょうか？でも春の足音も感じます。沖縄はXと二人連れなどと言われたつもりで最初の申し込みをしましたが、結局犬の治療のお陰で私一人で何うほかなくなりました。ちょっと残念ですが。では皆様どうぞ宜しく(3/1e-mail)。愛犬2匹の抗がん剤とステロイド治療が始まり東京まで通院しています(3/9)。MARS 医学アワードIIがCQ誌4月号で紹介されました(3/23)。犬が闘病生活、一日おきに点滴をしています(4/6)。3局から MARS アワードの申請がありました(4

／20)。今日は低いワイヤーアンテナより出ています(4/27)。タワーをもう一本建て 50MHz のアンテナを上げた(5/18)。7MHz は久しぶりに聞こえています、犬の点滴のため失礼します(6/22)。7MHz ではじめて 1kw をいれました。ARY さん又来週もよろしく(7/6)。昨年 年上の愛犬が14歳6ヶ月で亡くなり、寂しい(7/13)。金曜日より2ヶ月に満たない子犬が来ました(8/17)。ひどい、3.5MHz帯ではパタパタ言うノイズがバンド一杯に広がっている レーダーノイズ(8/24)。台風14号が心配で 3.5MHz のロータリーDPは降ろしT2FDより出ています(9/7)。子犬が来て、今犬が4匹になり賑やかです(9/21)。愛犬アルテミスが腹部腫瘍(副腎?)で手術を受けました(10/12)。今日の 3.5MHz のコンディションは悪いので PWR を入れています(12/7)。

JF1EJS:お久しぶりです。7MHz アンテナをフルサイズDPに建て替えました(3/16)。

先日はお世話になりました。今日は皆さん59～59+です(4/6)。GWは東京のホテルに泊まり、自由が丘や横浜に出かけた(5/11)。

JF1SXY:東京中野区から出ている小方と申します。よろしくおねがいします(11/23)。

JR1CDJ: あけましておめでとうございます。本年もよろしく(1/12)。今年初めて7MHz に出てきました(3/16)。今日はスキップもなくFB です(4/6)。ARYさんとお空で初めて繋がりました(7/6)。今日は台風一過とはいかず、曇っています(7/27)。

連休は上高地に行った。帰りは渋滞に巻き込まれバスの中から月見をした(9/21)。15日は埼玉医師会ハムクラブの総会で JL1LRJ 局とアイボールしました(10/19)。7時頃になり59になりました(10/26)。6:47に59になりました

(11/15)。

JR1VUF:アンテナが不調でしばらく出られませんでした。月火曜日は湯河原の老健施設に通っていますが、一週間毎に当直があり MD ネットには隔週にしか出られません(4/6)。ライフスタイルを変え、身の回りの整理をしています(5/18)。昨日、一昨日と東京はどしゃ降りです。6～7月に又サイパンに行きたい(5/18)。仲間が上級ハム試験に合格したので一緒に6月17日～21日までサイパンに行きます。19日 13:00～13:30 まで 21.300MHz におりますのでお声がけください(6/8)。サイパンペディはコンディションが最悪でした(6/22)。不忍池のハスが咲いた(7/13)。来週は伊豆スカイラインに移動してロングワイヤーを揚げて出ます(7/20)。土曜日の地震は縦揺れが気持ち悪かった。台風のため、移動サービスは取りやめ、来週にやります(7/27)。

今日は箱根の大観山(1000m)に移動していますが雨霧のためアンテナを設営できず残念です(8/3)。足柄下郡大観山に移動しています。よく飛ぶのですが、混信がひどく皆さんの声が良くわかりません。富士山と真っ赤な日の出が綺麗です(8/17)。17日には大観山に移動しましたが抑圧が強くみなさんの声がうまく取れず残念でした。また挑戦します。先週は納沙布岬、知床半島を周り美味いカニ、魚を食べてきた(8/31)。11月11～14日に田中さんとサイパンに行く予定です(10/5)。今日は昼から神戸～新門司の船旅、九州を周って22日に帰ってきます(10/19)。飛行機の都合で今朝サイパンより帰ってきました。アンテナが駄目になりV型アンテナより出ています(11/15)。今回のサイパン行きは、飛行機のオーバーブッキングで1日余計に泊まらされのんびりと海岸

で寝転んでいた(12/7)。今月になり娘がハンドベルで TV に出演する機会が多くなりました(12/14)。風邪気味で喉が痛むので失礼します(12/21)

JL1BGP:今まで30分間ワッチしても何も聞こえなかったが、久しぶりにみなさんの声がきこえてきました。明けましておめでとございます(3/16)。沖縄を満喫しました。今日は非常にFBなコンディションです。家の前の桜がちらほら咲き始めました(4/6)。

GWは熱海に行った。道路は渋滞していたが旅館街は寂れていた(5/11)。先週は軽井沢に行ったが寒かった(5/18)。先日大阪のスカイビルの大門茂行写真展に行き皆さんに会ったがAEF、ARYさんが元気になられて良かった(5/18)。東京は久しぶりの雨です(6/22)。先週の7MHz はワッチしていたがわからなかった(7/27)。最近ゴルフ場の松林が枯れ、明るくなったのでゴルフがやり易くなってきた(8/31)。先週は50分すぎまで聞いたがわからなかった(9/14)。連休は西のほうに行った。天気がよく谷の中から月見をした(9/21)。ここ2週間何も聞こえなかったが今日は1エリアを除いて59です(10/19)。6:30より聞いていましたが6:55にやっと開けました(11/9)。

JL1XWR:JA3ARY さんとお空では初めてになります。グランドでお聞きするよりずっと若く聞こえます。59+を送ります。こんなに沢山の方のON AIR MEETING は初めてで、傍にいて感激しています。花の写真を奥様に見ていただこうかなと思っています(7/6)。

JL1LRJ:桜が咲いたよ、咲いたよ狭山、明けましておめでとございます。2月はじめにJALの沖縄行きの切符を買った。MARS 総会ではよろしく。インフルエンザが流行ってきました(2/9)。

関東は花粉が酷く、いつもの美声が鼻声です。3月はじめにサイパンにゴルフに行ってきましたが、あそこはスギの花粉が無く、快適だった(3/16)。「花粉が飛んだ、飛んだよ狭山」。アレジオンを飲んでいるが、外出のときに必ずマスクをします(3/23)。沖縄は花粉症も出ずFBだった。5月3日は軽井沢の別荘より5バンドGPよりON AIRします(4/6)。今日の7MHz は皆さん59です(4/20)。花粉症もすっかり良くなり、昨日はゴルフ18ホール回ってきました(4/27)。軽井沢別荘より On Air です。標高1000mでFBなロケーションです。みなさんの声は良く聞こえるがSWRが高いのであまり飛んでくれません(5/4)。今日はたくさんの方のお出ましでオールスター戦のようだ(5/11)。昨夜、明日はMD ネットだと目覚まし時計を掛けて10時に寝たが1時半頃まで眠れず(6/1)。JALのサイパン便が無くなり残念です(6/8)。3連休は狭山ハムクラブの仲間3人と軽井沢から波を出し、すき焼きをして楽しく過ごした(7/20)。今日の7MHz は3.5MHz より良く聞こえ皆さん59です(7/27)。3日間の夏休みで軽井沢の別荘におりました。別荘には6バンドのGPを上げていますが、周囲の木の色と同化するように茶色に塗っていきます(8/10)。台風の風の音で目を覚まして出てきました。救急の日の訓練が鴻巣市であり、固定局とおして参加した(9/7)。

連休は軽井沢で無線三昧(9/21)。10月連休も軽井沢、430MHzで埼玉医師会ネットにチェックインしてみます(10/5)。リグを新しく買った(TS480)。タワーも新しいのと取り替えます(10/19)。2.4GHzのリグ不要の方がございましたら QSY してください(11/15)。3.5MHz、21MHzのアンテナを上げ換えた(12/7)。

JA2BIV:山の上のシャックは遠いので近くに QSY しました。台風でアンテナが曲がったので直して ARRL コンテストに出たい(9/21)。今日は今曇っているが、晴れそう。涼しくなりました(10/12)。

JH2QBQ:今雨風が強く関門海峡35マイル手前の姫島でしけ待ちをしています(4/20)。土佐清水に停泊しています。2週間くらいで家に帰ります(5/18)。6:30 よりワッチしていたがコンディションが上がってきたので声をだしました(6/22)。今まで CONDX が悪く声を出せなかった(8/17)。10月より新城市になります(9/14)。

JR2IZO:あけましておめでとうございます。本年もよろしく。年末～年始にローカル局と AJA ハントに九州を廻っていました(1/5)。今日は 3.5MHz の condx は非常によく、近距離も M5 です(2/9)。今日も 3.5MHz の condx はすべて M5、7MHz は 7 エリアのみ M5、近距離スキップ (2/16)。インフルエンザの A 型と B 型、ノロウイルスの胃腸風が流行っています(2/23)。6日の日曜日には AJA ハントに舞鶴、豊岡方面に出かけていました。道には雪はありませんでした(3/9)。連休はハム友と AJA ハントの四国廻りです(4/20)。来週は AJA の四国参りのため MD ネット失礼します(4/27)。7MHz は近距離スキップで 3、1 エリアが M3 です(6/8)。トランシーバーの故障で TS950S が受信状態にならず、IC726 より出るが 3.5MHz の受信感度悪し(6/15)。7MHz は 6:50 頃まで近距離スキップ(8/3)。7MHz はビービーノイズが強く近距離は M3 (8/10)。8月21～28日にローカルハム局と北海道を自動車で行ってきた全工程4700km、ふらふらです(8/31)。7MHz はローカルスキップ、7エリアのみ M5 (9/7)。

7MHz のコンディションは全て M5 (9/21)。10月連休は伊勢市にタカの渡りを見に行ったが、中部国際空港が出来て渡りのルートが変わったのか、あまり多くは見られなかった(10/12)。10月30日に北陸地方の AJA ハントに出かけた。九頭竜ダムは紅葉の最中だった(11/2)。13日の日曜に滋賀県、福井県、兵庫県の AJA ハントに出かけた(11/15)。年末年始にはローカル局と九州に AJA ハントです(12/7)。3.5MHz はレーダーノイズ、7MHz は近距離スキップで BF (12/14)。3.5MHz はコンディション良く6時過ぎより all M5、7MHz はさぼりだめ(12/21)年末～年始に九州に行ってきます(12/28)

JO2IXU:アンテナを外していました。これからは毎回でよいと思います(5/18)。アンテナは約 5mH、40m 長です。万博入場者は 50 万人になり、目標の 150 万人達成は確実になりそうです(5/18)。昨日は愛知万博に行ってトヨタ館のロボットのトランペット演奏、ロシア館のマンモスなどを見てきた(6/1)。

JA3ARY:MD ネットに出るのも数年ぶりです。1977 年の第 1 回 MARS 総会より 28 年になります。その間日本各地での総会、ミーティング、エクスカージョン、バヌアツペディションなど思い出しています。MARS NEWS の編集や執筆などは私の宝となっています。ドクター関係の各種団体の中で最もユニークで楽しい会でした。若手の入会者を迎えアクティブなクラブに育てていることを喜んでます。各局のご健康と MARS のご発展をお祈りします。今後また参加させてもらいたいと思っています。各局ありがとうございました(7/6)。前回の QSO 有難うございました(7/13)。先日の祇園祭には出かけて写真を

撮ってきた。HP に掲載してありますので見てく
ださい(7/20)。

JA3ASU:先日は有難うございました。アンテナ
は長い間使っていないので SWR 3 になってい
ます(5/18)。犬の散歩でネットに出るのが遅
れました。9mのホイップアンテナで出ていま
すが皆さん59~59+で入っています(7/6)。

JA3LDH:ご無沙汰しています。大門先生とお
空でお会いするのは初めてです。去年12月に
アンダマンをやった。大阪府医師会の執行部
の仕事を任せられハムに出られる時間が少なくな
ってしまいました(7/6)。

JH3AEF: あけましておめでとうございます。本
年もよろしく。年末より風邪をひいて BF な声に
なりました(1/5)。MARS NEWSと QSL CARD
を発送しました(1/12)。大阪は強風のためタ
ワーをおろしています(2/2)。1月には太陽フ
レアの影響で condx は悪かったが 75m、80m
バンドで100カントリーを超えた(2/16)。近く
に大きな建物の建築が始まっており、どれ位の
高さになるか気をもんでいます(2/23)。風邪
にやられ、咳、熱、汗でこの世の終わりのよう
です(3/9)。風邪で咳きが止まらず DXもペース
ダウンです(3/16)。沖縄では仲井間先生の
弟さんにまで夜遅くまでご迷惑をお掛けしまし
た。真夜中のキーを叩く AIN、SIK 局を見て
MARS の将来も有望と感じました(4/6)。連休
はクルージングに出かける予定です(4/13)。
4月14日突然具合が悪くなったが何とかリカバ
リーでき、4肢に知覚異常を認めるのみになっ
た。今週よりいつもの生活に戻りました(5/1
1)。医者から仕事量を減らすように言われ
MARS NEWSの編集をJF3JON局に手伝ってもら
うことにしました(5/18)。先日大阪スカイビ
ルの大門茂行写真展で ARY さんとお会いして、

以前と全く変わらないのに安心した(5/18)。
来年度のMARS総会は4月8~9日に横浜で行
いたい(7/20)。23日は花火大会を舟の上か
ら観た。一昨日の天神祭りは台風7号の影響で
天気が悪く BF だった(7/27)。カナダの
CY0AAを追っていますが信号がJAに届きませ
ん(8/3)。少し寝坊した。夏休みは例年同様
に瀬戸内のクルーズで過ごした(8/24)。きょ
うの7MHz のコンディションは良く、皆さん59で
す。3.5MHzも秋型になり Eu や Afが聞こえ出
した(8/31)。JA3PFZ 局が8月14日に他界され
ました。JF1SXY 局が入会されました(9/7)。
太陽フレアの影響でコンディションが悪い。毎
日暑い。まだマンダラゲが咲き続けています(9
/14)。インドのアンダマンの QSL が届き
DXCC まで後1つになりました(9/21)。奈良
国立博物館に正倉院展を見に行った(11/2)。
御堂筋のイチョウ並木も黄色くなり、臭い銀杏
が落ちています(11/15)。昨日神戸にルミナ
リエにいったが大変な人出で、20列に並んで4
0分も歩いてやっと会場に到着した(12/21)
JH3GOB:3.5MHz に初めて出てきました(2/
9)。寒くて水道が凍りました(2/23)。
今年は寒い。3.5MHz はアンテナが良くないので
あまり飛ばないと思います(3/2)。もうすぐ
沖縄総会、金曜日夜から出かけます、よろしく
(3/16)。7MHzは JH7QFA 局しか聞こえない
(3/23)。今日は久しぶりに皆さん59です
(4/6)。今日の7MHz は皆さんきれいに入感
しています(4/20)。天気が非常に良いのでこ
れから鳴門に出かけます(5/4)。先日大阪の
空中庭園に行って大門先生の写真展を見てき
た(5/18)。
22日再度スカイビルに出かけ、皆さんにお会
いした(5/18)。昨日外来でクーラーを入れた

(6/1)。皆さん非常に強く来ています ARY さんとお空で繋がるのは初めてです。これからもよろしくお願ひします(7/6)。一寸聞こえにくいチェックインした(8/24)。連休は急患で引っぱり出された(9/21)。今日のコンディションはすごく良い(10/19)。今日は良く入感しています(11/30)。

JH3TCC:屋根裏アンテナからでていますが、ARY さんと初めてお空でお会いでき喜んでいきます(7/6)。

JR3HGY: あけましておめでとうございます。本年もよろしく。初詣に神社に行きました(1/5)。先日京都ナニワ屋で行われた大門先生のデジタル写真展に行ってきました。今回は沖縄のMARS 総会は欠席(1/26)。-3℃、雪が盛んに降っています(2/2)。先日散策していたら丸山公園の上で桜が咲いているのを見つけた(3/2)。先週西山、釈迦岳を歩いてきたが、スギの雄花が赤茶色にびっしり着いていた(3/16)。皆さんスキップなく59です。京都は昨日より桜が咲きだし、お寺ではライトアップされています(4/6)。サクラは昨日の雨で散ったと思ったがまだ残っています(4/13)。27日に須坂にお墓参り、その後野尻湖、妙高に行きます(4/20)。先週の7MHz のMDネットはQRMが酷くあっちこちワッチしたが分からなかった(5/11)。先週は天気がよく、葵祭を全行程見ることが出来た(5/18)。今日は CONDX 良く、皆さん59です(5/18)。7MHz は早くから声を出していましたが近距離スキップで取ってもらえず(6/22)。10日は祇園祭の山鉦が組み立てられ17日は山鉦巡行クライマックスです(7/6)山鉦巡行の行われる17日は日曜日と重なり、京都の旅館はどこも満員です(7/13)。祇園祭には44万人のものすごい人出でした(7

/20)。台風7号はあまり雨が降らなかった。もっと雨が欲しい(7/27)。五月蠅かった蟬の音が聞こえなくなり、虫の声を聞くようになった。今朝22度、涼くなった(8/24)。先日の日曜日には医師会から敬老のご馳走をいただきました(9/14)。草とりをしています、虫のため所々草を引かずに残しています(9/21)。連休は米子～松江に行き、日本庭園、横山大観特別展などを見てきた(9/28)。明日は亀岡の山に登ります(12/7)。睡眠時無呼吸症候群で安眠できない(12/21)

JF3JON:沖縄総会ではよろしく(3/23)。沖縄では楽しく過ごさせていただきました(4/6)。昨日、愛・地球博に行ってきましたが人でいっぱいでした(4/27)。MARS NEWS 編集のお世話をすることになり東條先生のシャックにお邪魔しました(5/18)。白浜温泉に来ています(5/18)。昨日は久しぶりに阪神中日戦を見に行きひやひやしながら応援していた(6/22)。ARY さんとお空では初めてです(7/6)。白浜モービルです(8/10)。MARS NEWS お送りしました。また原稿お送りください(8/17)。連休は神戸の学会、昨日は甲子園に行ってきました(9/21)。MARS NEWS の原稿送ってください(12/7)。

JF3NXJ:久しぶりにBKしました。各局にはいつも失礼しています(10/5)。

JI3CIN:近距離スキップで JR2IZO 局は微かに聞こえます(2/16)。今日はコンディションが良く皆さんの声が弾んでいます。皆さんにはるばる沖縄まで来ていただき、嬉しい(4/6)。MARS 総会の記事が琉球日報に出ました(4/13)。今日はcondx良く皆さん近くに聞こえます(4/20)。GWには当直、娘や孫が来て何処にも行けず(5/11)。先日大門茂行写真展で

は皆さんとアイボールでき、楽しかった。大門、東條先生も元気そうだった(5/18)。無線免許最近まで大丈夫と思っていたのですが6月11日に切れていました。沖縄の写真 MARS のHPに掲載していただいています 電話にて(6/21)。今日は JH3ZIK で出てきました。大門先生のお声を聞くのは初めてで大変喜んでいきます(7/6)。

JH6IBM: 1年3ヶ月ぶりにでてきました。トライバンダー八木(クリエイト 218F)をあげました。7MHzは2エレになります。エコーリンクにも出ていますのでよろしく。皆さん59で着ています(6/7)。今日はリグがトラブっています(8/17)。

JR6EZJ: 久しぶり(7年)に出てまいりました。皆さん59です。5年前より柳川に通っています(4/13)。今朝M5.7の地震がありました。被害はありませんでした(4/20)。先週はQRMが酷くお声がけできず(5/11)。各局 M 5 で入感しています(9/14)。九州は雨です(10/5)。先日佐藤先生とアイボールした(10/19)。

JA7AOM: 陸奥もようやく春めいてきました(4/20)。GWは八幡平の山頂の雪がきれいだった(5/11)。今日の7MHzは距離によって入感が大きく違います(6/1)。

ARYさんの元気なお声にほっとしています(7/6)。昨日の地震はかなり揺れて怖かったが被害は無かった(8/17)。だいぶ涼しくなりました(8/31)。9月1日より松尾村は八幡平市になりました(9/14)。秋めいてナナカマドが綺麗になった(9/28)。

八幡平は今紅葉の盛りです(10/19)。病院界隈の落ち葉が大分多くなった(11/2)。

すっかり落ち葉になり、いつ雪が降ってもおかしくない(11/9)

JA7RTM: 此の頃起きられず。やっと出てきました(1/26)。雪は降っていないが結構積もっている。雪下ろしは今年1回おこなった。寒いので毛布を被り、コタツの中からやっています(2/9)。起きるのが遅くなり MD ネット失礼してきます(4/6)。最近“眠り病“で早く起きられませんが(6/8)。今日は早朝検診のため失礼します(8/31)。

風が強いようです(9/7)。最近MDネットに出てないので忘れられそうです(10/26)。このところ眠り病で朝起きできない。一声で失礼します(12/21)

JA7VAB: あけましておめでとうございます。本年もよろしく(1/5)。外気温-5℃、積雪5cmです(1/12)外気温-5℃、道はかんかん凍ってアイスバーンです(2/2)。

今日風によって屋上のアンテナがやあられ、しばらく出られませんでした(6/1)。

夜は暖房を入れています(6/22)。先週はワッチしたが取れなかった(7/20)。外気温20℃。台風7号の影響はほとんど無い(7/27)。昨日の地震は被害なし(8/17)。

(JA1KXTに受信できず)各局良く聞こえる(8/24)。3.5MHzは聞こえなかった。7MHz

は皆さん59~59+です(8/31)。3.5MHzは聞こえなかった(9/7)。今朝も3.5MHzは聞こえなかった(9/14)。八甲田山の紅葉はまだです(9/21)。八甲田山山頂は紅葉が始まりました(9/28)。八甲田山は紅葉の盛りです(10/19)。八甲田山の紅葉も終わり、朝晩の冷え込みがきつくなってきた(11/2)。放射冷却で冷え込み外気温は2℃です(11/15)。大気温-2℃、雪が降りそうです(11/30)。

JH7QFA: あけましておめでとうございます。本年もよろしく(1/5)。災害に備えてレピーター

をもう1台上げる予定です(1/26)。7MHzのコンディションが悪く、KXTさんが聞こえたので呼んだが取ってもらえず(2/2)。7MHzの開けるのは少し早くなり、6:40ころから2、3エリアが59で入感するようになった(2/9)。5月にはパリに行きます(2/16)。3月10日は塩釜神社のホテ祭ですが寒い日が続いています(3/2)。やっと暖かくなったが、花粉はあまり飛んでいません(3/23)。沖縄ではお世話になりました。帰りの飛行機でCIN局と隣席で楽しかった(4/6)。4月27日～5月4日までフランスに行きます。レンタカーを借りて回る予定です(4/13)。フランスでは自動車を借りてあちらこちら廻ったが標識を見落とししたりで、慣れるまで戸惑った(5/11)。今日は学校検診のため松島湾の学校を廻ります。生徒数減少で1校が閉校になりましたが、検診が終わり家に帰るのは夜になります(5/18)。先日学会で大阪に行き、東條先生とアイボールしたり、大門茂行写真展を見てきた(5/18)。昨日は寒くて暖房を入れた(6/1)。来年4月に又フランスに行くことになりました(6/8)。梅雨なのに雨が降らない(6/22)。1週間おてんとさんは見えず、寒い日が続いており長袖を着ています。11日に宮城メディカルハムクラブとヨット嵯峨号の合同ビールパーティーが賑やかに行われました(7/13)。17日には祇園祭に行こうと航空券を手配していたが、寝過ごしてしまいキャンセル(7/20)。台風は過ぎ去り青空が見えている(7/27)。明後日はヨットレースです(8/3)。昨日の地震は前の地震のように冷蔵庫が倒れるような事はなかったが、怖かった(8/17)。鉢植えにしているマンダラゲの花が咲いた。地震の予測は出来ないというので困った。9月に(またまた)フランスに行く予定。今朝の7MHzのM

Dネットはスキップのなく全国的に59～59+でFBでした(8/24)。週末は救急の日の訓練で移動運用をします(9/7)。来週1週間同級生2夫婦と又Fに行ってきます。ツアコン、ドライバーを1人でやらねばなりません(9/14)。

Fでは4500ccのBMWを借りてコートダジュールを廻ったが15km/リットルも走り、ディーゼルの燃費の良いのに驚いた(9/28)。週末は仙台でヨットレースです(10/5)。最近地震が多いのでシャックにヘルメットとスニーカーを置いています(10/26)。

先日真っ暗な海を金華山に出かけた。星が綺麗だった(11/9)今日は松島でCMの忘年会です。土曜日はクリスマスイブで電飾のヨット嵯峨号で一夜を過ごします(12/21)

JE0BWH:あまり飛ばないので閉じこもっていました。いつの間にか7MHzも condx 良くなりました。日曜日にかくだ山(500m)に登りました。ユキワリソウとカタクリが一面に咲いていた(4/13)。今年もいつものように2泊3日で舟で佐渡に出かけた。天気が良く楽しかった(5/11)。田植えは終わりましたが、寒く育ちが悪い(5/18)。日曜日には登山をした(6/1)。週末に佐渡に行く予定ですが入梅間じかで天気心配です(6/8)。先日は新潟地方は大雨で朝から医師会に呼び出され MD ネットは失礼しました(7/6)。先、先々家内と週イタリア、オーストリアに行ってきた(7/27)。台風はたいした被害もなく、涼しくなりました(8/31)。稲刈りも終わりにちかづいた。今年も例年なみの作だそうです(9/28)。長野との県境の山に登ったが紅葉はまだです(10/26)。最近雷、嵐、雨あられで無線から遠ざかっています(11/30)。

トップバンドへのお誘い

JA1KXT 相田 信男

《はじめに——横浜のこと》

これは何時だったか、すでにMARSニュースに一部書いた気がするのだが、埼玉県に生まれ育った少年時代の私にとって、横浜というのは大変魅力的で、上等で、憧れの対象なのだけれども簡単には近づけないような場所だった。実際、父の友人が開業しておられる古い歯科医院があったし、この先生のお宅を訪れた稀な体験が、立派なお屋敷の記憶と共に、私の「横浜観」を大いに偉大なるものに育て上げたのも確かである。今でも、横浜で生まれた人とか、育った人などと何うとつい尊敬してしまうし、ついでながら次回MARS総会は横浜で開催と聞いただけで、うっとりさえてきてしまうのである。

横浜のことはともかく、ま一つまりそういった少年らしい思い込みがあったというご披露だが、実は関連した思い込みがあって、今回の記事はそういった少年の思いを前提に話を進めたい。関連した思い込みというのはこうだ。かつてラジオ関東という放送局があった。現在のアールエフ・ラジオ日本の前身である(もともと今はこういう局名だというのもこの度知った)。昭和33年のクリスマスイヴに開局という歴史だから私が中学1年の冬の冬のことになる。私はこの開局時のことを実体験として知っているように思う。多分このことは思い込みではない。ところが、ラジオ関東が横浜から電波を出していたとか、それは1480KC だったというのが全て少年の思い込みとその後の記憶錯誤だったと、この度ついでに

判ってしまった。送信所はかつて今も川崎市(横浜の隣だ)、当時の周波数は1420KC、その後現在の名称に変更、今は1422KHzの電波で放送している。

こうなると全体に自信がないが、「今日の話は昨日の続き、今日の続きはまた明日」と、番組の初めと終わりに三木鶏郎や前田俊彦が騒いでいたプログラムがラジオ関東にあったようにも記憶している。どうだったろう。

いずれにせよ、ラジオ関東の電波は横浜から埼玉という、中学生の私からするととてつもない遠方を(つまりそれが遠方であると感じるのは、立派な場所からという思い込みの作用した心理的距離というやつも影響しているのだけれども)それまでの民間放送局と一味違う番組を乗せて、やってくるのであった。因みにこの頃民放には、未だ「深夜放送」という言葉はなかったように思う。関東では、ラジオ東京の上の周波数に文化放送とニッポン放送があって、この2局はときどきステレオ実験放送をしていた。つまり文化放送から左の音が、ニッポン放送から右の音が送信された。これも少年には大変どきどきする時間だったのである。

《BCL からハムに》

私はそれほど熱心にBCL(放送局受信者)をしたわけでもない。ことに中波の国内局の受信は、大阪からの電波を聴いた記憶はあるけれども、近隣を対象にしてすぐに飽きてしまい、むしろ海外日本語放送の受信を好むようになった。未知の場所への距離感と「外国からの電波」自

体が中学生の気持ちを捉えたのだろう。ただ、埼玉の片田舎の町から横浜(と思い込んでいた)の放送局までの距離を大変遠く感じていたのは前述の通りで、うっかりすると北京放送、モスクワ放送、ロンドンBBCよりもラジオ関東受信に感激したのは、未知の外国よりは実感があつたせいかも知れない。その感じを抱いたまま、やがて私はJARL登録のSWLを経てハムになり、自分でも電波を出した。高校1年の秋、学校は文化祭の翌日でその後片付けを済ませ早くに帰宅した日に、6BQ5プッシュプル、終段は807シングル、3.5MCでのクリスタルによる運用でのことだった。

当時オン・エアしている「JA1K」コールは圧倒的に高校生が多かった。ことに工業高校などの生徒は無線について詳しくて、まあ少し幅を利かせていた。夜になると、電気関係に勤務している大人たちが出ていた。つまり大概是専門に近い人々がオン・エアしていた。ハムには坊さんも医者もいるという雑誌に紹介されている話は、人が犬を噛んだので記事になる類なのだろうと合点した。(hi)

大学に入りQRTして、ずっと後になって再開局した話は、確実に以前MARSニュースに書いた。1976年10月の再開局である。東京・八王子市でのこと、少しして建売の団地の二階家に住むようになった。ここがDXに目覚め、その後DXに魅せられていく、アワード云々と言い始めるJA1KXT発祥の地である。

《トップバンドにQRV・再びQRT》

引越した直後にローカル局たちが集まってベランダにGPを立ててくれた。次いでこれを屋根の真ん中にもっていく工事は看護師(くっついてきた看護婦までいた)が手伝ってくれた。ローカルのDX'erの忠告で実はひどく耳の悪か

った中古のリグを新品に換えた辺りから昨日はどこどこが聴こえたなどと話すようになり始めた。10Wでは50カントリー止まりと教わったが不思議とその通りなので、電監から検査に来てもらってQROした。

その頃だったと記憶しているが、当時QRP'erとして雑誌記事なども担当しておられたOM(故JA1EVK)に誘われて1.9MHzを覗いて見た。これがDXという奥深い病気の本格的な始まりだったろう。先に述べたGPにただただリード線を継ぎ足し、狭い庭を囲む境いっばいにそのリード線を引き回した。そして、「ラジオ関東のすぐ上の周波数での」、つまり私としたら、埼玉と横浜というあの大変な距離を越えるべく、トップバンドでのDXを始めることになった。今ログをひっくり返して確かめると1981年5月5日に同じ市内のJA1CKEとの1st QSO、丁度1年後にJR2IZOとQSOしている。ログ帳の同じページに、文字通りひどく狭い庭いっばいにというよりは家屋いっばいにリード線を張り巡らしたメモが残っている。見事と言えば見事だが、ま一無謀この上ない。しばらくして全てのバンドでのほぼQRTの時期を再び迎えた。仕事は大学に移り、結構忙しい日々だった。と言うよりは環境的に無理だったのだが、つまりトップバンドでのDXも、青年の(ではなくなつてたか、壮年の)一時の夢でほぼ終わりそうだった。

結局はWAJAもできずに東京でのトップバンド運用は終わった。(やがて改めてWAJAを取得したさまはMARSニュースに書かせてもらった。:MARSニュース第46号)

《群馬県にQSY・再びトップバンドへ》

東京都内を幾箇所か転居していて最後は池袋のマンション住まいだった。6mのリグだけは手放さず持ち歩いていて、それはEスポでの

国内 DX のスリルが忘れられない記憶だけからの骨とう品収集の感じにも似ていて、実際の QRV はないままに過ぎた。群馬県前橋市への引っ越し完了が 1988 年 4 月 11 日。4 月 17 日にはピコ6で同じ群馬県移動局と QSO している。5 月 1 日に TANK-TANK40 という釣竿型のベランダアンテナを設営(これも当時 JR2IZO 局の友情への感謝とともに MARS ニュース第 11 号に載せてもらった)、5 月 4 日に MARS ネットにチェックイン、改めて再び QRV したのだった。今ふり返るとこのときの DXCC が 129 カントリー、東京での最終成果だった。

現在 DXCC は 329 エンティティ、群馬に来てから 200 増やしたのだから、まー夢中の部類だと思う。本当言うと、とてもではないがかつては想像もできなかった数なので、少し呆れる。以前よりも多少腕を上げたかもしれないけれど、どちらかというと 器械(リグ)自体の進歩、インターネットをはじめとする情報の発展によるところが大きいと思う。

1990 年の暮れに現在の赤城村に QSY した。その 3 日後にはまだ盛り土のまま境界もはっきりしない「庭」の隅に GP を差し込んで JARL の QSO パーティに参加したのだから「夢中」というより少々「おかしい」。でもログによればトップバンドに QRV したのは翌年の 10 月で、それも本格的に数多く始めるにはさらに二ヶ月かかっているから、やはり 1.9 メガは出るのが難しいバンドであるのは確かだと思い返している。

この当時の、最初のアンテナが何であったのか記録は定かではない。多分 T2FD に乗せたのではないかと思うが、もうひとつの可能性としては 80m 用のツェップ(ツェッペリン)型アンテナだったかも知れない。肝心の記録は残していないものだなとログを見て残念な気がする。記

憶としては、1.9 メガの電波は T2FD には簡単に乗るものの効率がよくなく、80m 用のツェップの方を好んでいたように思う。実はここですでに自分の土地をどうに越えて隣の山林に入り込んでいるものの、何とか誤魔化せる範囲のアンテナの張り方だった。次に試みたのは、そして今も既得権のようにして使い続けているのは、平気で道路を越えて電信柱を無断で使用しているのは、1.9 メガ用逆 V 型アンテナである。(逆 V の張り方は左右のエレメントの長さを非対称にした方がよいという受け売り記事を以前に書いた:MARS ニュース第 44 号)。そういう事情なので何時かは撤去しないと知らないかも知れない。

だから、トップバンドに出るのは厄介だと、多くの OM がおっしゃるその事実について、以上私はよく分かる。80m のことを田舎バンドと言った時代があるが、そう言えば 160m はチョウ田舎バンドかも知れない。だが、都会型のハムと何える OM でもこのバンドに QRV しておられる方々は結構おられるので、MARS の先生方にも、かつての JA3ARY, JH3SQM, -SQN, JR2IZO その他の方々に続かんとばかりに、ご一緒に出ただけないかなと考える次第である。

これまたいつ頃からその気になったのか定かではないが、1.8MHz に出てトップバンドでの海外局との交信を狙うようになった。数年前にバンドが開放になってからの QRV は無論けれども、それも幾らか遅れてだったように思う。感激のトップバンド WAC 取得についても MARS ニュースに書かせてもらった(MARS ニュース第 60 号)。私の(静かな)アワード・ハンティングにおける自慢の一作である。

《受信アンテナの設置》

160m での DX となると何と言ってもパワーが

要る。再び QRO の必要に駆られて変更検査を受けることにしたが、昔とは違って今や民間車検工場のような落成検査の仕組みがあって、我々のように週日休みを取り難い仕事の者には大変助かる。おまけに事前の指導もあって電監の検査とは大いに異なって気持ち良い。おまけに私の場合、お出でになった検査官の一人はかつて QSO したことのある方で、これが新しいご縁で DX について色々教えていただくことになった。そんなご縁で英国製の受信専用アンテナ「ALA-1530S」を教わった。160mをもう少し良く聞こえるようにしたいと考えていた私には朗報だった。

「ALA-1530S」の形式は円形の非同調型ループ・アンテナである。内部構造は明らかにされていないと言う。2000年9月号のCQ誌に前身であるALA-1530の紹介記事が載っていた。(OM 諸氏で必要ならコピーお送りします)



写真 1

全体像を写真1に記すがこういった立派な梱包で届く。ループの大きさは直径ほぼ1m。根元に当たる箇所に接続インターフェースが入った樹脂製の箱があり、これを基台に乗せてマストに固定する。とは言っても、樹脂製の箱での固定は赤城山でなくても風が怖いと思う。ループ上部までを固定する必要があると考えた。12月の小雪ちらつく寒い日だった。しばらく前から

工事をお願いするようになったプロ(のハム)に取り付け作業にかかってもらった。写真2はその様子である。かつては自分で登り、一人でアンテナの上げ下ろしをしていたコン柱を、今は下から眺める身となった。実はこの度も登ってみて、ローテーターを外しマストを下げるころまでは自分でやってみたのだが、下げたマストをどうしても揚げられないと悟り、彼らに頼んだ。リグは作らない、アンテナ工事も人頼み、インターネットで DX 情報を得て、これでは本当にアマチュア(無線家でなく)通信士になってきてしまった。(と反省)



写真 2

上記のループ上部の固定は、アンテナの仕様上金属製物体を抱かせられないので、グラスファイバー製のパイプを用いた。漁業用の網を固定する肉厚のパイプという話だった。このアンテナの指向性は、一見したところクワッドアン



写真 3

テナのようにループの平面に直角という印象だが、その実はそれと 90 度異なったループ方向への 8 字特性を示す。写真3は、そういうわけでヨーロッパ方向を向いた (hi) ところで、指向性は 1200MHz 八木でご覧に入れている通りである。背後にあるのは上から、80m/75m 用 DP、10m5エレ、40/30m 用2エレである。一番上の DP で水曜日のネットに出ている。

《受信アンテナの成果》

アンテナが上ったのは前述の通りひどく寒い日だった。そのせいかな？ それとも V-, UHF のアンテナしか載せていないので長いこと使わなかったせいかな？ 工事の彼らが帰ってから気づいたのだがローテーターが時計方向にしか廻らない。あーなんということ。それにはめげず結局まず 11 メガあたりを聴いたら懐かしいウォーキングマチルダのテーマが聞こえるではないか。「This is the Radio Australia」の ID に思わずにやっとしてしまった。指向性を戻せないのが不確かだが、多分、キレは意外にも良い。

私の使用リグは Yaesu FT-1021 という受信専用回路が用意されているものなので、特別の苦勞なしに受信専用アンテナが使用できる。なのに、結論的にはこのアンテナの成果は原稿締め切りの今日まで、未だ分からない。上記の事情に加えて味わっている時間が足りなかった。少なくとも国内の 80m と 160m には意味がないように感じる。多大な期待を寄せたように、受信専用で切り替えたからといって、信号が浮き上がって聞こえたりはしない、むしろ送信用のアンテナでの入感の方が、給電点が高いだけ良い位だ。

ただし 80m の DX の信号にはこんな風な効果があるように感じた。FT-1021 は split 運用用に 2 つの VFO をもち、受信専用回路というのは

このうち一方の VFO を使っている。そこでオーディオ出力としては 2 つの VFO からのミックスを聞くことが出来る。そして、実際はどちらの VFO を使ったにしても信号強度ないし S/N にさほど変化はないのだが、(否、ここでも送信用アンテナの方が耳が良い位だが) 送受双方(つまり二つの VFO から)の信号をミックスすると、結果的に S/N 比が上るように感じる。私は二つの VFO のそれぞれにおける S/N それ自体にさほどの違いはないのに、雑音の方は(周波数や種類が)異なるので、二つを合わせて聞くと結果として(互いに同期している)目的の信号の方が雑音に比べて強く聞こえるという現象だろうと解釈しているのだが如何だろうか。OM 諸氏に教を乞いたい。

《おわりに》

「DX」の定義が一つではないことはご存知の通りだ。つまり単なる遠距離通信に限らず、ハムの(時には人の)居ない国や場所、伝播上困難な場所などさまざまである。ただ、普通に運用していて身体の感じからした運用本人なりの DX というのもあると思う。例えば八王子市から 2m バンドで春になると 59-59 でも QSO できる伊勢市は冬の間は超 DX で、正月2日に 2m SSB で「お伊勢参り」などと洒落たことがあった。同市から 2m での佐渡島は DX だったが群馬に来てみたらローカル並だ。当たり前の話かも知れないが気づくと八王子が DX になっていた Hi。

そうやって眺めてみると、私の身体感覚的 DX は、いつも必ず少年期に聴いたラジオ関東を基点としているように思う。トップバンドという言葉の響きのなんとも言えぬ魅力もさることながら、1.9 メガや 1.8 メガで聴くあのモールス信号、というよりあの雑音混じりの信号からは、埼

玉の畑の中の平屋の奥の日当たりの良くない勉強部屋で、胸ときめかせて聞いた放送局の電波が、あの興奮が思い出されてくるように思う。

結論。受信専用アンテナの詳細はいつか改

めてご報告したいと思います。160mへのお誘いといった趣旨から駄文を綴ってみました。私のトップバンド・ワークは現在 35 エンティティに過ぎませんが、次の機会にレポートするときにはもっと延ばしたいと願います。2006 年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。(2006.1.10.記)

JH2QBQ/MM 丸山先生ご夫妻の 壱岐対馬五島航海記

壱岐、対馬、五島クルージング第4報 対馬めぐり

4月30日 湯の元を出て対馬厳原港に向かう。昨日までの荒れた海が嘘のようなベタナギ。厳原港は混んでいると漁師さんから聞いていたので一つ西の久田漁港に泊める。レンタカーで観光に出かける。先ず対馬民族資料館を訪ね朝鮮通信使来朝の頃の歴史を知り、初代藩主宗家の活躍ぶりからその菩提寺のある万松院を訪れる。日本三大墓所の一つと言われるだけあって壮大なものでした。夜はパブリックハウスばってんにて刺身定食。鰯の刺身はとてもおいしかった。ここはコインランドリー、スーパーも近くにあり便利なところだ。



壱岐厳原の万松院の石段

5月1日 朝から霧が深い。後日通る万関橋

を見に行く。日本海軍が日露戦争の時作った水道で非常に狭い海峡です。対馬空港のレストランにて昼食、近くの根曾古墳群を見学、帰りは対馬グランドホテルにて温泉に入る。1000円と高かったが貸し切りでした。真夜中稲光で目がさめる。ものすごい雷と土砂降りの雨でした。寒冷前線の通過です。

5月2日 きょうも強風波浪注意報が出ています。もう1日観光をする事にしました。ヨットから歩いて10分程の所に新しく出来た観光物産館とレストラン発見、早速昼食を頂く。ここのお姉さんがとても親切な方で烏帽子岳とヒツバダゴの花が満開で是非見ていきなさいと薦めてくれる。一緒に記念撮影までしてしまいました。烏帽子岳では偶然浅茅湾で民宿うむぎをやっていらっしゃる方と知り合い、船を泊める桟橋も有るから寄っていくように言われる。

対馬の道は曲がりくねってアップダウンが多く中々目的地に着きません。とうとう北端まで行く事は出来ませんでした。6時間レンタカーに乗りずめで降りたのは烏帽子岳に登った30分だけでしたが、山道になれている私でも疲れしました。しばらくは目をつむると景色が走馬灯の

ように動いていました。対馬は車で行くより船のほうが早いと聞いていましたが本当でした。ヨットに帰ると隣りにイカ釣り船が泊まっていて、スルメイカを3ばいも頂いてしまいました。夜は漁師さんをコーヒーに呼んで遅くまで海の話を楽しみました。対馬の人は言葉使いもやさしく皆さんとても親切です。



烏帽子岳より浅茅湾を望む

5月3日 久田港を出て浅茅湾に向かいます。まだうねりが残っていて波も2m位ありましたが強風は収まりまらずの航海でした。万関橋では大勢の観光客がヨットに手を振ってくれました。浅茅湾に入ると海面は湖のように静かです。一つの入り江を選んでアンカーを落としました。

新緑の山々が海面までせまってヨットを取り囲んでいます。聞こえてくるのは鳥の鳴き声だけです。まるで桃源郷に居るような気分になりました。昼食を済ませ暫く休んでからアンカーをあげようとしたのですがウインドラスが動きません。仕方なく45ポンドのCQRとチェーン20mを人力で巻き上げました。しばらくは物が言えませんでした。私の体力もこれが限界のようです。

民宿は浅茅湾の卯麦の一番奥にありました。栈橋は7,8mと小さく海底には真珠小屋のアンカーロープが走っています。ロングキールが幸いしてなんとか着岸できました。海底をみるとロープがラダーにあたっています。ここでは対馬の郷土料理の数々をご馳走になりました。地鶏のいりやき、六兵衛(サツマイモのでんぷんでつくったソバ)、脂の乗ったヨコワの刺身、雲丹などでした。

5月4日 浅茅湾をでて対馬最後の港、南端の豆酸(つつ)港に向かいます。ここは昔は対馬で一番栄えた港だったそうです。テトラポット前の岸壁に横着けする。明日は平戸に向かいます。

壱岐、対馬、五島クルージング第5報

5月5日 対馬を出て平戸に向かう。静かな海何時もこんなだと良いですが。平戸では定番のフェリー栈橋の右隣に泊めようとするといきなり拡声器で泊めてはいけませんと怒鳴られる。遊漁船の船長さんが良いからと言ってくれるのでそのまま着岸する。どうも最近はうるさくなったようです。早速水産科に行つて許可をもらう。高砂からのヨットルナに横抱きを頼まれる。皆でホテル蘭風のお風呂に入りに行く。無料バスが

出ていて素晴らしい露天風呂があり600円でした。近くにあるクラシックな喫茶御家紋にてコーヒブレイク、5年前に来た時から3回目でしたが美人のママさんは覚えていてくれました。

5月6日 朝から霧がひどい。レンタカーに電話するも無いとのこと。今回はかくれキリシタンの里と教会を訪ねたかったのでがっかりしていると、ボランティアの方が案内してくれると言うので早速お願いする。切支丹資料館に行く。かく

れ切支丹の信仰の深さを窺い知る事が出来ました。ロマネスク様式のヒモ差教会、木造の美しい宝亀教会、最後にゴシック様式の壮大なザビエル教会を案内してもらいました。平戸では五島とちがいかくれ切支丹にたいしても寛大に取り扱ったそうです。



宝亀教会

5月7日 強風波浪注意報のなかルナと共に出航しハウステンボスに向かいます。クオーターの風なので割と楽です。針尾瀬戸に早く着きすぎちかくの港で1時間汐待ちをして通りましたが、大潮のせいで時々ラットをとられ大変でしたが無事ハウステンボスにつきました。夜には楠川さんから紹介のあったヨット鳳の鳥尾さんを訪ねこのあたりの情報をいただきました。



パレス(ハウステンボス)

5月8日 自転車を降ろして買い物に行く。

30分位のところにスーパーあり買い物をして帰る。途中長い坂がありましたがさすが電動アシスト、楽に登っていきます。ハウステンボスの中を自転車で散策。ここの名前のいわれとなったパレスを見学する。非常に綺麗な庭園でした。夕方鳥尾さんからとれたての真鯛をいただき、早速刺身にする。

5月9日 ヨットゼンバイの加藤さん五島より帰ってくる。昨年宜野湾で会って以来です。再会を喜ぶ。五島の情報を色々教えてくれる。こちらも壱岐対馬の情報を提供する。加藤さんの車でコインランドリーに連れていってもらい帰り買い物をして帰りました。加藤さんは昨年从这里をホームポートにしているようです。夜は本場スペインのフラメンコのショーが近くのホテルであるので見に行く、激しい踊りで中々見ごたえがありました。

近くにそれぞれアメリカ、オーストラリア、ドイツからきたヨットが泊まっていて、セレナを見に来て良い船だ美しいと言ってほめてくれましたがキャビンに案内する機会を失してしまいました。もう少し居れば友達になれたのに残念そうでした。

5月10日 ハウステンボスをでて五島宇久島の平漁港に向かいます。平戸を過ぎる頃から1時間ばかり3ノットの逆潮に会い苦労しましたが6時前にフィッシャリーナに着きました。立派なポンツーンがあり水、電気も使えます。停泊料は1100円、電気、水はそれぞれ500円でした。町まで歩いていると犬の散歩をしている方と会い話をしていると、急に車で島を案内してくれるとの事。平家盛のふなかくし、美しい海水浴場、無料の自然のままのゴルフ場等を案内してくれました。ふなかくしでは丁度夕日が沈むところで美しかったです。

夜には義理母さん連れて、自家製の雲丹とあわびの佃煮、鯨の刺身、海藻の漬物、きゃらぶきの煮付け、生雲丹のピンづめ等をもって遊びに来てくれました。島の方は見ず知らずの私達にとっても親切にしてくれます。

義理母さんと話しをしていてヨットにのるのは

これで2度目です。最初は息子の友達の松崎さんと言う方のヨットでと言われ、まさか私の知っている松崎さんではと話したところそのまさかでした。おたがいしばらくはえーっと言ったままでした。早速松崎さんに電話する。本当に世間は狭いものです。(つづく)

南極昭和基地勤務を命ず(1)

一月月火水木金金

JA6RQK 西見 幸英(福岡県)

9月、日本鋼管鶴見にて年次検査を終えた砕氷艦「しらせ」は、満載排水量 18,900 トン、3万馬力の全機関試運転のため 20 ノットで日本一周航路に旅立つ。南極勤務の電文を受理し乗艦。毎年11月14日の南極への出港日に向けての準備が始まる。



横浜港入渠中の「しらせ」

休日なく各員、防火防水訓練、夜間ヘリ発着艦訓練、溺者救助訓練に精励。手術室、医務室、病室、7つの実験室の整備。9月の台風を追って片舷15° 状態での無影灯、手術器具、人工呼吸器や麻酔器のチェック。50 kg/cm²に圧縮された笑気ガスボンベと 150 kg/cm² 高圧の酸素ボンベを気温 40°Cの海上で一斉に開く。圧縮されたガスは2次減圧弁に一気にふりかか



乾ドッグ内にてサンドブラストを吹きつけ

全塗装をはがす作業前の「しらせ」

り、ジュール・トムソン効果によって急速にガス温度が低下、細い銅管が凍りつく。供給圧低下の警報が艦内に轟き赤道海域では中央配管システムは使えない。

波に揺られながらの X 線フィルム現像は自

現機が使えず、手作業で現像液と定着液が混ざらないよう無事終了。艦内電源は117ボルト、精密電気機器にとっては致命傷だ。良質の整

流器が威力を発揮する。今年も同じような訓練が始まっただろう。10回目の秋が来て診療の傍ら懐かしく回想する。(つづく)

牧場？ いや、アンテナファームです！



左から I4AVG Franco 316E on 80/75, IK4GME Giovanni, I4EWH Paolo,
I4EAT Fausto 326E on 80/75, 270E on 160

Antenna 4 VERTICAL PHASED 19m high for 80m with 50 radials each total
200 radials
1 VERTICAL 27m high for 160m with 40 radials
2 INVERTED VEE N/S E/W 40m long for 160m
1 VERTICAL 1/4 for 40m
1 VERTICAL 1/4 for 30m
4ele YAGI for 20m 18mh
4ele YAGI for 15m 16mh
4ele YAGI for 10m 14mh
BEVERAGE for Rx

TRX TS 940S AMPL 500W

ロッククライミング

JA1FF 国府田 守雄(東京都)

70歳過ぎた良い歳をしてなんでロッククライミングと言われるが、これが面白くて止められない。プロのガイドが先行し、ロープで確保するので、万一落ちても死ぬことは無いが、かなり痛い。

家内が70歳、古稀、を迎えたので、夏休みには希望のところに行くことにした。シャモニーでのロッククライミングである。町の周りが全部岩山なので、いくらでも、登るところがある。車で、10分、ロープウェイ、リフトを乗り継ぐと、30分の登りで、岩山の登り口に着く。

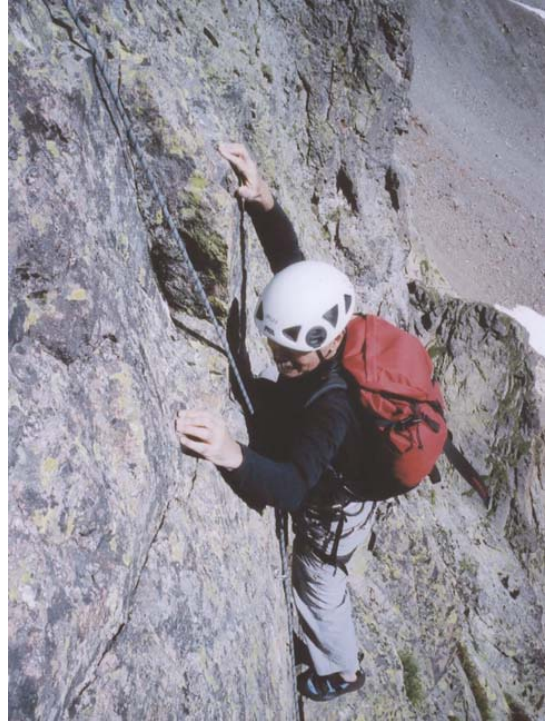


2,000m でのロッククライミング

眼下はシャモニーの町遠望はモンブラン山群

初日は、足慣らしのために、車で10分の公園になったガイヤンの岩場に行く。芝生の公園

の奥に、1ピッチ、約50mほどの岩盤がある。子供たちも練習をしている。日本の72ジジ、70ババも子供たちと並んで登る。



アンデックスでロッククライミング

翌日は、フレジュールまで、車で15分ほど走り、ロープウェイ、リフトを乗り継いで、アンデックスに登る。ラックブランという美しい湖に向かうハイキングコースなので、人が多い。コースの途中から左上のほうに別れて、岩山のほうに、ガラガラした岩屑の斜面を登り、岩山の基部で、支度をして登る。出だしは、少し苦勞するが、感じを取り戻し、気持ちがおちつく。振り返ると、谷の向こう側には、雪を被ったモンブラン山群、ドリユーなどの針峰群が見られ、遥か下には町が小さく見える。高度感は十分以上である。下

りは懸垂下降。観光客に見せびらかすようにして、ヘルメット、カラビナなどの金具類をガチャガチャさせて、リフトに乗る。

次の日も、アンデックスに登り、ハイキングコースとは逆に、左手に向かい、2000m超のカシードラルロックのある岩山に登る。途中でツルツルの一枚岩があり、苦勞する。頂上を形成する針峰群を、登ったり巻いたりして通過し、懸垂下降でハイキングコースに降り、腹ペコのまま、4時ころ、ホテルに帰着。

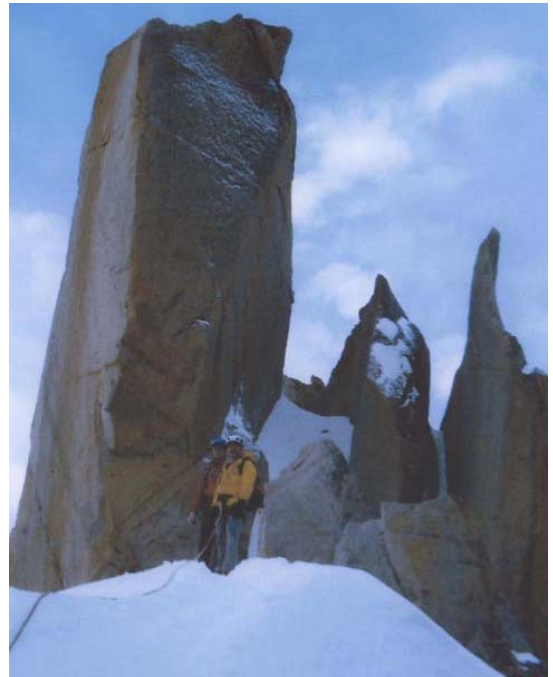


エギュードミディ

下に見える氷河から登って来る

翌朝は、エギュードミディ行きのゴンドラ、6時半発の一番に乗り、3800m超のゴンドラ駅に。アイゼンを着け、ヘルメットを被って、身支度を整え、観光客のための安全確保の柵を跨ぎ越して、アルパインの世界に足を踏み出す。急な細い雪稜を氷河まで下り、ロープを氷河用に長めにセットしなおして、稜線を回り込むように歩

く。コスミック山稜の登り口で、アイゼンを外し、登山靴で岩をのぼる。酷く難しいわけではないが、3000mの所なので、息が切れて苦しい。最後のころに、赤い花崗岩の一枚岩があり、ツルツルで苦勞する。ロープの梯子？と上のほうに金属の支持環が打ち込んであるが、かなり苦勞してよじ登る。あと少し頑張ると、観光客の沢山いる、展望台に着き、拍手に迎えられて柵を乗り越え、デッキの上に。



コスミック稜(3,800m)登りの途中で

次の日は、雨の予報だったが、大丈夫そうなので、ゆっくり出て、再びアンデックスへ。新しいルートに登る。かなりハイペースで登ったので、昼過ぎには、下に降り、アルジエンチエールの村まで行って、少し遅い昼飯。

天気にも恵まれて、予定のロッククライミングを全部完了して無事帰国。日本でのように、何時間もかけて、岩場に行き、少しだけ登って帰るなど、考えられないほど恵まれた土地であった。

DXing を忘れた 10 日間

JH3AEF 東條 純一(大阪府)

その日は天気も良く市街地では絶好の野球観戦日和に見えた。仕事も都合よく片付き、試合終了後の六甲嵐爆唱を確信して家を出た。レトロスペクティブに考えると何か何時もと違う感覚が体をよぎっていたのかもしれない。何がどうと言葉で表現するほどの違和感でもなかったが、何か集中できない、何か眼に力が入らない中途半端な感覚とでも言おうか。

甲子園球場に着く。好天ながらスタンドには相当強い風が吹いていた。試合が始まって間もなく、その風が以外に低温であることに気付いた。WIFE は震えながら今岡の背番号の入ったユニフォームを買ってきて羽織った。

期待された投手福原は前評判に反し全く精彩を欠き、まるでホームラン競争でもしているかのようにポカポカ打たれた。その都度気温が 0.5 度づつ下がるのを感じ、自慢の手弁当も一向にすすまなかった。7 回に至りすでに 7 点差、その大半がホームランによる不甲斐なさ、競ったゲームでもないのにどうしようもない疲労感とゾクゾクする寒さに打ちのめされて、試合も終わらないのに球場を後にした。

家に入ってもゾクゾクが解消するどころか眼の焦点が定まらないような気だるさが襲ってきた。WIFE にすぐ床につくよう告げ横になった。しばらくウトウトしたのであろうか、強烈な気分悪さに目が覚めた。何度確かめても柱が膨らんだように、そしてかもしも曲がっているように見える。まさか、、、しっかり見ようとすると視野のものが左上から右下のほうに流れて目を開け

ていられない。やっとのことでインターフォンに手を伸ばしボタンは手探りで押した。幸い WIFE が取り、飛んできた。ことの仔細はさておき、この状況を知人の脳循環医に伝え応援を求めるよう TEL させる。何よりもラッキーだったことは一発で彼につながり、直ちに彼の勤務先の病院の救急外来に向かえと指示を受けたことであった。

病院は近い、この時間であれば 15 分内外でつける。しかし、この期に及んでもなお自分が自分の診療所の玄関から救急車で担送される姿に非常な抵抗を感じた。無理をしてでも自分の車で、、、ところがである、寢床から車までほんの僅かの距離ではあるが大難儀、真っ直ぐ歩けない、足が踏ん張れない、目を開けると物が曲がって見える、対象物が流れる、激しい嘔吐(吐き気も無いではないが機械的に嘔吐してしまう感じ)。それでも車に揺られること数十分、「ストレッチャー出します」の声にああ国立病院に着いたのだな、よく来れた、が実感であった。

狭い寝心地の良くないストレッチャーが動き出し、急に暖かくそして物凄く明るそうなところで停止した。救急外来の処置室なのだろう。気分の悪さで目は開けられないまま、安堵感と暖かさのせい意識は朦朧とし、何がどうなったか定でなかった。そのような状況でも何処からともなく救急車のサイレンの音、ストレッチャーが引き込まれてくる音に気付く、さては同類が増えたか。懸命に名前を聞き出そうとしているスタ

ツプの声、電話のやりとり、研修医の00ですが、、、と言っているのが聞こえてくる。急に意識明瞭になり、大丈夫かいな、、、と一瞬不安になったところで聞き慣れた声でした。どうしました、、、の声で彼が来てくれたことがすぐわかった。一寸寒かったかな、、、の声にまたまた安堵そして朦朧。今度気が付いたのはMRの物凄い雑音のときであった。あれは凄い、59+40dbは下るまい。

そして落ち着いたのは救命救急病棟であった。狭いストレッチャーからは開放されたがこのベッドも決して寝心地の良いものではなかった。その上普段見慣れた管だらけ、線だらけの状況が、自分の体に施されてしまっている。周りは消灯されていて薄暗く、カーテンに囲まれているらしい。体に窮屈さを感じながらも、そして未だに物を注視出来ない状況のまま何となく眠りにおちた。

何度かの見回りの度に少々の覚醒はあったものの、いつのまにか周りが薄明くなったことで夜が明けたのを感じた。眼は閉じたまま、先ず両の手を握る動作、続いて下肢を少し動かしてみた。左側に軽いシビレ感はあるものの動いている。動いている!!! あー助かった。ラッキーにも自分の持っていた卒中のイメージ、そして結末とはかなり違った状況のようだ。何はともあれ感謝、感謝。しかし、やや軽くなったものの未だ視野の中のもの流れ、吐き気が続く。何やかや検温から始まる朝の行事があった後、何やら配膳されたが物が喉を通っていく筈が無かった。しばらくして主治医である彼がやってきて、昨夜の検査結果の説明があり、初めて梗塞が起こったことを理解した。認めたくもない検査所見の詳細は書かないことにさせていただいた。自分では助かったと思っていたのだが、彼等は

決してそうは思っていないことが話の中から汲み取れた。「シビレの部分が広がってこないか」「軽いものでも麻痺の症状がでてこないか」「吐き気や眼震が強くなるか、、、脅かしっこ無しにしてほしいね。

入院翌日の午前、WIFE が病院の指示による身の回りの品を持って入ってきた。今日は特別、明日からは面会時間に指示に従っての面会しか許されないらしい。とにかく入院直後の病状の説明は相当厳しいものであったようだ。主治医の立場からすれば当然そういうことになるであろう。このご時世、決して「大丈夫、大丈夫、まかしとき、、、」なんていう医者はいないだろう。それにしても我々が医学生の時代には良く聞いたんだがな「私が治してあげますから大丈夫、まかせておきなさい！」いやーご立派、のんびりした良き時代(医者にとってか)だったんだなあ、、、。WIFE は手も足も動かすことができ、ベロまで出せる私を見て相当安堵した様子であった。すまん、すまん。しかしWIFE の声を聞くや突然現実の世界に引戻されてしまった。今日からの外来、そして入院予約を取っている妊婦への対応、、、。かかる状況では如何ともしがたく、咄嗟に頭に浮かんだ対応をWIFE にメモらせて、親友の産婦医Xに手渡すよう依頼した。電話を受けた彼氏、朝の最も忙しい時間にもかかわらず診療をはしょって病棟まで駆けつけてくれた。が、対応に出た看護師は教えられたとおり(それが正しいのですが)インターホン越しに「本日は面会できません」とやっちゃったらしい。そんなこんなで「東條は手足は動かん、話は筆談、面会は謝絶」という噂が流れ、後々見舞いに来た友人達のあいだで笑い話になってしまった。

そのような状況で飛び込んだ救急救命病棟

だから、何処が出入り口で、どのような配置になっ
ていて、どのような陣容で機能しているのかさ
っぱり分からなかった。それでも主治医達の心配
とは裏腹に、私の状況は幸い日に日に軽快
の一途をたどり、4 日目には同じ病棟内のレカ
バリーベッドに移された。管だらけ、線だらけの
状態も次第に数が減り、塞栓融解のための薬
剤の輸液のみがポンプにより続けられた。病棟
の様子も次第に分かってきた。おおよそ楕円形
をしたステーションを中心に、廊下をはさんで
患者のコンパートメントがこれを取り巻くように配
置されている。インターホンのある病棟の出入り
口に近い方にステーションのメインの出入り口
があり、そちら寄りから重症者が奥に向かって
配置され、多くの患者は挿管されレスピレータ
ーが装着されていた。私のいるレカバリーの部
分はナースステーションの出入り口からは最も
遠い一番奥まった部分にあり、ここには一般病
棟では管理困難な要注意の患者が収容されて
いた。ここに移ってからは婦長も時々足を止め
お喋りをしていくことがあった。このごろは婦長
と言わず師長と名乗るのでとまどうこと甚だしい。
何でも今の 40 人体制では手不足で、間もなく
50 人の体制になるとうから人件費が財政を圧
迫するのも無理からぬこと。ようやく面会も許さ
れ、午後の面会時間には見舞い客が来てくれ
るようになった。彼等はすべからくインターホン
のある出入り口から入り、チューブを煙突のよう
に立てた見るも恐ろしい重症患者たちを横目
に見ながらレカバリーのほうに導かれるのであ
る。私のベッドのカーテンがサラット開けられる。
そこで私がヨッツ！と手を上げたとたん皆一様
にホット安堵、我を取り戻すのであった。筆談で
面会謝絶の AEF の復活の一瞬であった。

そんなこんなでこの病棟へは本当に着のみ

着のままの状態飛び込んできた。翌朝、恐る
恐る寝巻きへの着替えこそしてもらったが、体
には甲子園の砂ぼこりがこびりついていてに違
いない。肌着もパジャマも諸々日用品も床頭台
の扉の中にしまわれたまま数日経っていた。
何とかニスタグムスも軽減し、吐き気も多少は我
慢できるようになったある日、清拭という出来事
に出くわした。着替えもするが、サッパリと綺麗
になりましようということらしい。カーテンをサラサ
ラと引いて上半身をすっきり脱がしてくれた。若
くて可愛いナースなのに大変な仕事だななど
思っているうちに「東條さん下もみんな取り替え
ましよう！！！」こちらは目を開くと眩暈がして
吐き気が起こるので自分でドンドンというわけに
も行かず、おまかせでいくより仕方ない。暖か
い蒸しタオルで首筋から胸、背中、腋と手馴れ
た手つきで仕事ははかどってゆく。時々ハッハ
ツと彼女の温かい優しい吐息が私の体に伝わ
ってくる。元気な体ならこれは大変と感じつつも、
もう一寸続くのかなと淡い期待めいたものを感
じない訳でもなかった。今度は腰のしたにビニ
ールの布を敷き始めたかなと思ったら「こども綺
麗にしておきましょうね、一寸お腰を上げて」何
やら木枕みたいなものを腰の下に差し込んだ。
そんなことしたらおれの大事なこと突き出ちゃ
うぜと思う間もなく、温かい石鹼液か消毒液かを
タラタラタラっとふりかけた。それが又まことに良
い湯加減！、と、亀さんの頭をヤニワニつかん
でシャボシャボシャボ、、、、暖かいお湯を流
してサラサラサラ、、、、「サッ、さっぱりしまし
たよ！！！」いやー有難う有難う。ハイラーテン
以来俺の WIFE にもしてもらったことのない大サ
ービスをしてもらって感謝、感謝。アー病気の
体でよかった。元気な体でこんなサービスをし
てもらったらクランクアップタワーもフルアッ

プ、、、さすがに次回の清拭はもう元気になったからとか何とか云って蒸しタオルだけもらって丁寧に断りした。

ここは大阪上町台地、大阪平野では標高が一番高く、地盤も固い一等地である。然して大阪城をはじめ、NHK、大阪管区气象台、国税庁大阪支部、大阪府庁、大阪府警察本部、大阪歴史博物館、この国立病院、そして毎々お世話になる近畿総合通信局など、しっかりした背の高い建物が軒を並べている。飛行機で大阪伊丹にお越しの皆様はすでにご承知のとおり、東、北、西そして南、何れの方面から来た飛行機も一旦大阪市の南東方向にある金剛山付近から東大阪市上空、そして此処大阪城上空を通過して伊丹に着陸する。

この部分後日談、上空から大阪城をご覧になった方は少なくないだろうが、仙台から遠路お見舞いに来てくださった JH7QFA 渡辺 OM は、お土産にと機中より DIGICAME を望遠にして航路眼下の東大阪 JH3AEF 邸を撮影したのだとおっしゃる。当の私ですら常々上空から我が家を見つけ出すことは不可能と決めてかかっていたのだから、いくらお土産とはいえそんなことが出来よう筈がない。お聞きした時はかなり確信を持ってそう思った。ところがどうして、FILE を開いてみてびっくり仰天、決して大きいとはいえない小生の家屋が正確に写っているではないか。家屋どころか、細い路地から路上の車まで。イラクの戦地から来る空中写真にも劣らない。カメラの技術もさることながら、知らない土地で発揮された QFA 氏の NAVI 技術はさすが長年の MM 生活で培われたものなのだと改めて敬服した次第であった。いまやインターネットの GOOGLE MAP からは、世界各地の衛星写真が無料で配信されている。これよりも QFA

MAP の方が余程解像力が素晴らしいと感じいた次第であった。次回にはタワーのアンテナが判別できるかも、、、。

体に違和感が無いではないが、お蔭を持ってようやく苦勞なく物を見ることが出来るところまで回復した。となると病棟内の観察よりは当然のように眼は窓の外に向けられるものだ。そこに動くものでもあればこれほど退屈を紛わしてくれるものはない。私のベットからは北の方角がほぼ 180 度見渡せる。病院の後庭、そして中央に高架部分のある幹線道路、さらには整然と植樹された公園、その向こうに先程の高層ビル群が屏風のように並ぶ。屏風のようなビル群の右方には青々とした大阪城公園の森が広がり、その中にひとときわどっしりと大阪城が聳えている。市街地とはいえ、意外とゆったりとした景観である。

ビル群の東端は歴史博物館、この建物は博物館という性質のためか一風変わった形をしている。恐らく 14, 5 階はあるのであろうが、こちらに面した部分は上から下まで完全な円弧の壁面を呈している。そしてこの円弧状の壁面には、上から 2~3 階下がった高さを円弧状の帯のように見える窓が配されていた。広い壁面に窓は此処だけにしかなかった。先程の伊丹に着陸する飛行機はこの景観を右から左に横切るのであるが、丁度森の上、大阪城上空を横切った後、歴史博物館の窓の高さでビルの背後に消えていく。背後に空以外何もない景観の中では、飛行機は恰も窓からビルの中に滑り込んで行くように見えるのである。あの 911 自爆テロの飛行機が貿易センタービルに突入したあのシーンを思い起こさせる光景でもあった。ビルの高さに対してまどの幅はいたって狭いのであるが、凡そ全ての飛行機がこの窓に吸い込まれてい

き、それ以外の高さでビルの背後に消える飛行機などいないのだという確信めいたものを感じ取ったのは、退院直前のことであった。この円形ビルの左隣は新しくなった NHK ビルであり、ビルとビルの間には幾ばくかの空間がある。この空間はこちらから見ていると、ジャンボ機なら丁度一機がはまる広さ、小型機なら二機三機、、、、。飛行機は伊丹空港に向かって着陸態勢にあるのだから、次のビルとの間隙ではあの円弧窓よりは低いあの出っ張りの高さ、そして又その次のビルとの間隙では更に低いあの目印の高さ、、、、。やや！あのジャンボ、一寸降下しすぎてるのでは！！。

病魔にやられたとはいえ自院の患者に関する気苦労から一切遮断され、600オームの BK にいらいらさせられることもない、極め付けは WIFE のお小言も一切届かない、ストレスの無い環境とはこのようなことなのか、実に納得出来

たような気分であった。

更に更に、暗いうちからタワー揚げの儀式から始まる DXING というストレスからも完全に開放された10日間でもあった。

何はさておき、ほぼ原型を保って退院できた自分に万感をもって感謝、万全を尽くしてくれた主治医と病棟のスタッフに感謝、私のいない診療所を切り回してくれた応援医達とスタッフ達に感謝、ご心配をいただいたり、お見舞いにお越しいただいた皆様に感謝、最後に、この上も無く心配をかけ、日に何度となく自宅と病院の間を行き来してくれた WIFE と家族に感謝、感謝、感謝。

QRO、QRL 一辺倒でなく QRP、QRS を上手に取り入れるべし、QRT では元も子もない。この度の恐怖の十日間から得た教訓でした。

DXING 抄

詠み人知らず

600CW ととった。JST0545、恐らく信号はこれから上がってくるだろう。でも既にパイルが始まりかけている。皆の耳はすごい。何時も何時も耳には悩まされる。所詮、都会のビルの谷間から出ているハムが聞き取れる信号は知れたものである。相手がマグカップを置いて KEY をたたき出すのを待ち構えていて呼ばなければ気持ちよく拾ってくれるはずがないのだ。拾われないことには少々自信めいた開き直りがある。

信号は予想どおり徐々に上がり始めた。とっ、

突然 OP をやめてしまった。CW 局の WC ブレイクか、それとも X さんの「もういい加減にお風呂に！！！」BK か。いや、PEDI なら X さんのお風呂 BK はなかるうか。

一寸あたりおさまよって再び ON FRE。JST0705、なんとなんと信号は 59 に。盛んに QRZ JA。なかなかの親日派？それとも JA の OPE？後日談、I の PEDI TEAM でした。QRZ JA、JA UP はいいが、この OPE の UP は半端ではない。UP3 から始まって時にはほとんどな

い上の方を拾っていることも。突然の BK に JA は散ってしまったかと思いきや、いつしか先にも増しての DOGPILE。信号は益々強く 59+。あまりの強さに一瞬 PIRATE??? 時間はと見れば丁度日の出の 0710J。日曜日、早すぎもしないこの時間、PILE にならない方がおかしい。呼べども呼べども CALLBACK はない。やっぱりロケーションにはかなわない。今日もだめ。0730J には信号もガックリ下がり、0800J には信号の存在すら確認できなくなった。かくして 75/80DXCC100Es の夢ははかなく消え去ってしまった。信号はあれだけ強かったのに。

次の朝、信号は確認できる程度。とてもじゃないが当局の呼べる CONDX ではなかった。またその次の朝、0500J、Rig に灯を入れる。EU からの QSP では 600 が出ていると言うのだが、JA の DXER 諸氏曰く、今日の CONDX はメチャメチャ悪いと。確かに EU でも深いところは殆ど聞こえない。80 に下りたり又 75 に上がったりを繰り返す。と、0645J、今まで EU すら難しかった CONDX の中、60 の信号だけが 55。当局での 55 は DXER 諸氏には 59 は下らないだろう。それでも今しがた上がったばかりのこの信号ならと UP5 の指定に従って呼んで見る。あまり突然な CONDX の上昇のため、未だ JA 各局は気付いていないようだ。呼んでいる局は僅かではある。しめしめ。しかし相手に当局の信号は確認出来ていないらしい。盛んに他局が拾われていく。と!!! JH3 と CALLBACK。必死に KEY をたたく。力が入ると途端にミスが出てしまう。それでもかまわず呼び続けるも CALLBACK は 3 の、ER!!! 残念。

かの局はもう何日も追い続けている局。その

癖は確り掴んでいる。今日の彼氏は UP5KHz に始まり、UP10KHz、時にはまだまだ上まで聞いた後、必ず UP5KHz 丁度に戻ってくる。こちらは UP5 から CALL を始め、早め早めに CALL する周波数を上げていかねばならない。勿論 CALLBACK には最大限に神経を尖らさねばならない。更に、拾われていく局の CALL 周波数にも耳をそばだてていなければならない。この一局のためにしなければならないことがやたらあって、やたら忙しくて、その操作たるや、やたら複雑だ。この忙しさ、この一局がどうしても!!!のご同輩でなければ解ってもらえないだろうな。もともと、GOING MY WAY で相手かまわず悠悠と同一周波数で呼び続ける方もいらっしやいますが。貴方はどちら派ですかね。はい、はい、中にはオートマで自局のコールサインを放出しっぱなしの局がおいでですが、あれって相手の信号は聞いているんですかね? 笑

と! 或る強力な局が 599TU をおくれた。この局にゼロインですかさずコールした。返ってきた。JH3AF??? 今度は間違いない。しかし私のサフィックス AEF の E は泣きどころだ。CONDX が余程良くないと落とされることしばしばだ。つつい肩に力が入るが AEF AEF AEF、でも慌てると今度は F が R になってしまう。AEF AEF AEF F F F QSL? やっと来た JH3AEF 599。勿論 QSL TU。出来た、バンザイ!!! かくして 75/80m100局目は 600CW が祝ってくれた。

その日は朝から機嫌の良い院長に、従業員一同安泰の一日となるのであった。

DXCC No1 Honor Roll

JA3LDH 高井 康之(大阪府)

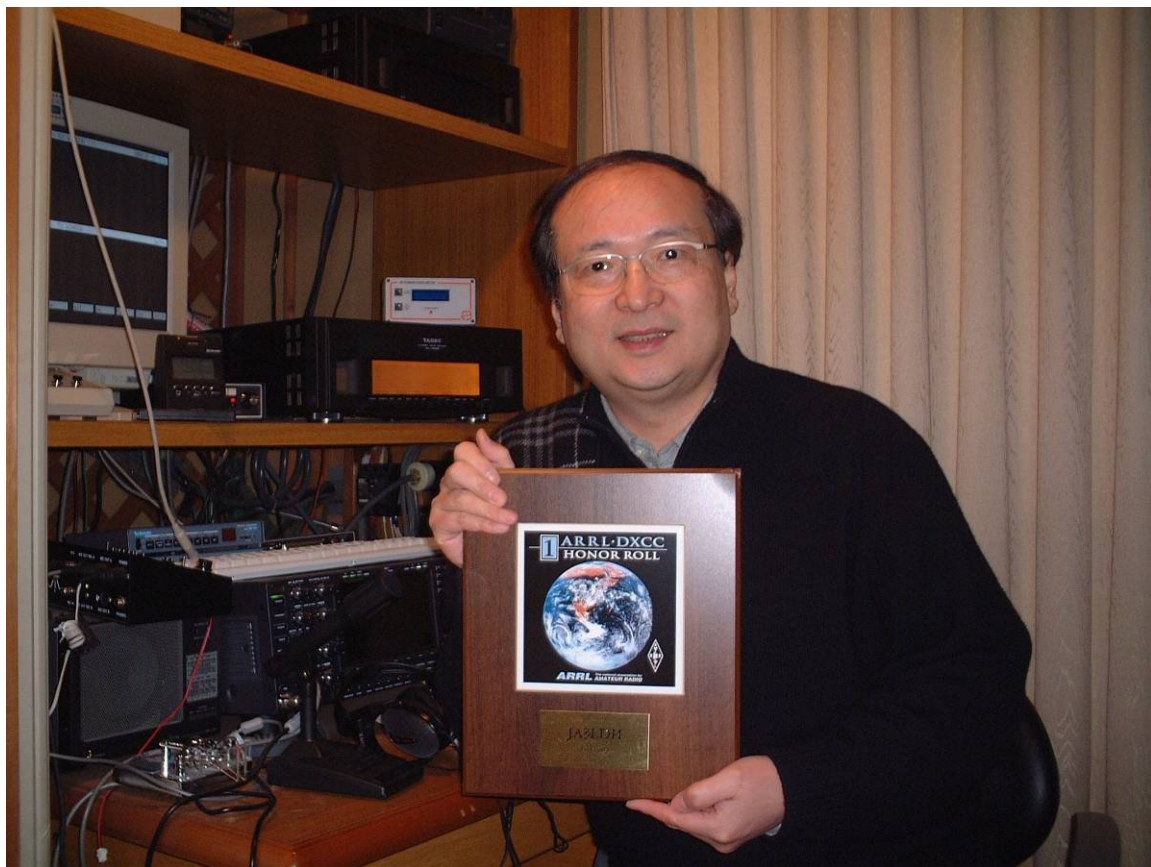
ARRLのDXCC No1 Honor Rollの盾を2006年1月受領いたしました。

開局した1966年にQSOLした、初めての海外局がXW8ALでした。DXCC最後のエンティティは、2004年12月5日のVU4RBIのアンダマンでした。First Oversea QSOから、38年、再開局してゼロから再スタートした1988年からでも、16年かかりました。

勿論、DXCCが全てではありませんが、アマチュア無線活動の多くの部分をDXを追いかけることに費やしてきた私にとっては、DXCCの現存全エンティティ335との交信完成は、ひと

つの区切りです。JAでは、すでに200局以上の方が完成され受領していますが、MARSの会員では、JH4UYBさんについて2番目ではないかと思えます。JH3AEF東條会長が、残り1つだったと思えます。故JA3PFZさんはQSOは、されていたようですが、申請されていなかったようです。

最近、医師会の公務がやたら多く、アマチュア無線にさける時間が少ないのが残念ですが、これからも細々と続けたいと思っていますので、MARSの会員の先生方、よろしくお付き合いをお願いいたします。



PLC 電力線搬送通信問題のその後

JH3AEF 東條 純一

PLC とは情報通信インフラの発展に伴い、情報伝達の経路として、家庭内で電灯をはじめあらゆる電気機器に電力を供給する電力線を利用する技術である。家屋を始めとする建屋には隅々まで電力線が配線されており、ネットワークの構築にこれほど利用価値の高い物はない。しかし、この配線はあくまで電力を供給するためのものであり、通信信号を伝送する目的で作られたものではない。よって、これまでは電波の漏洩の憂いの無い低い周波数を利用したインターフォンなどに利用されるのみであった。

今回提唱されているのは、2MHz～30MHz を利用して高速の通信を提供しようと言うものである。平成14年総務省はその実施の可否を問う研究会を開催したが、航空、海上通信、放送、アマチュア無線、電波天文の分野より、混信妨害への強い危惧が表明され、我々MARS においても医療設備、健康維持装置、健康に対する影響の重大性を勘案するよう提唱したところである。

その結果、研究会の結論は、実施は時期尚早、しかし技術開発の期待は大きいと、研究開発は必要、そのための制度整備が必要と結論付けた。直ちに制度整備が実施され、実証実験を行うための基盤が作られた。

このことにより推進派、反対派それぞれによる実証実験が実施され、その結果を持ち寄って検討する2回目の研究会が、平成17年1月より12回にわたり開催された。一般からのパブコメ(意見聴取)も実施され、それらの全ての結果を勘案した研究会としての結論が先程、17

年12月に総務省より発表された。

即ち PLC 装置から漏洩する電波の許容値を定め、無線利用システムとの共存を図ること。そして実証実験結果より PLC 機器が発するコモンモード電流は、提唱周波数においてコモンモードインピーダンス25オーム、LCL16dbのインピーダンス安定化回路網を用いて帯域幅9Khzで測定したとき、30db μ A(準尖頭値)以下であること。この許容値は国際規格に定めるパソコン等の情報技術装置から漏洩する電波の強度と同程度のものである。

また研究会では PLC 機器業界が無線利用者との共存を図れるよう情報の周知に努めること。PLC 機器が実用に供された段階での無線利用との共存の状況を把握し、必要に応じて許容値、測定法の見直しを怠らぬようなども提言している。

ただ残念に思えたのは、ある時の研究会において、建屋内での漏洩に医療施設での特殊性が提言された際、某委員が「不要な不安をおおるような発言はやめろ」と言葉厳しく遮ったのを報告書で見たことである。私は遮った委員が可愛そうに思えると同時に失望した。

平成14年の研究会では MARS も意見陳述をした。しかし、総務省の意図する検討はただただ工学的、技術的側面のみからの実験、検討であり、当該お役人には、その技術を供用した場合に最も大切な人の生活の場への影響については守備範囲外と言わんばかりの石頭ぶりを感じた。

情報化社会にあつて如何に重要、便利な技

術であろうとも、それを利用するのは人であり、人の健康を維持するための医療設備、健康維持装置、更には人の健康そのものをないがしろにする技術、あるいはひょっとして健康に悪影

響があるかも知れない技術に対してですら、我々は大いにNoを言い続けなければならないのではなかろうか。

Wires - II の試験運用

JH3TCC 家田 勝幸(和歌山県)

和歌山県医師会ハムクラブ(JH3ZIK)では毎年、県医師会から補助金をいただいて高野山から移動運用を行っている。名目は震災等の緊急時等に備えての訓練ということであるが、最近インターネットが普及したためか、アマチュア無線で電波を出す局が少なくなり、夏の高野山移動での交信局数は一時の四分の一以下になっている。そこで何か帳尻あわせをしておかないと、補助金打ち切りとも言われかねないため、何か策を練る必要に迫られている。

IP電話のアマチュア無線版とでも言うのか、Wires - II が、2メーターで和歌山市にノード局があることがわかり、試してみることにした。最近の新しい機種はほとんど対応しているようで、マニュアルを見ながら設定。PTTを押すと、ピポパ音を発して、即座にノード局につながり、2メーターFMでは聞こえるはずがない1エリアと8エリアの交信をワッチする。終了後、呼ぶと1エリアから応答(群馬の局)。送受信にかなりのタイムラグがあり、いつもの無線交信に比べると何となく違和感がある。ドイツやオーストラリアからも呼ばれたことがあるとの由。正月休み中、何局か交信したが、皆さん正月休みで、移動局が多く、ノード局から離れてしまうと交信不能になり、移動中の運用には注意が必要である。送信を終了して、“どうぞ”と送ってから、次の返事が

返ってくるまで、5~6秒以上の時間があり、移動局と交信していると、タイムラグなのか、ノード局から離れてしまって交信不能になったのかわからず、不安になってくる。タイムラグはテレビのニュースなどでこちらのアナウンサーと海外特派員との会話で時間のずれがあるがそれ以上に長く感じる。このかなり長いタイムラグはノード局内でのものか、インターネットの有線部分でのものかわからないが通常の無線交信ではロングパスでの交信でも感じたことはないから、有線部分がかかなりろんな経路を通過して、時間がかかっているのかもわからない。せっかちな人向きではなさそうである。

インターネット接続キットは2万円ちょっとなので、前述の通り、災害時の連絡に役に立つよということなので補助金を頂いているため、和歌山県医師会ハムクラブでノード局を立ち上げるのも、帳尻あわせには良いかなと思う次第である。ただ、難点は直接波で交信可能なローカル局同士では同じ周波数で、同じIDに接続するとループ状態になり、利用できないようであるから、クラブ員の定時のロールコールには利用できない。ノード局を立ち上げるのに、無線設備の変更届等の手続きはいっさい要らないし、今のところ帳尻あわせの第一候補にしておきたい。

Asia Pacific DX Convention 参加記

JH3AEF 東條 純一

昨11月18~20日の3日にわたり、上記を銘打った国際的なハムの集いが大阪で開催された。巷の噂からそのような会があることは知っていたが、CQ誌を店頭で立ち読みする程度の私には、それがどのような内容の会なのか知るすべも無く、日本橋のハムショップに置いてあった案内からインターネットのサイトをのぞいてみた。比較的にじんまりした集いながら、参加局のリストを見て息をのんだ。参加総数およそ100、内、外国から参加の局25、そしてそのコールサインがすごかった。

Antennas and Techniques for Low Band Dxing という Ham の間では知る人ぞ知る名著を著した ON4UN John

VK0IR, A52A, K5K, VP8THU, VP8GEO 等 25もの DXpeditions を計画、主宰してきた K4UEE Bob

VK0IR, H40AA, A52A, ZL9CI, VP9THU, VP8GEO, FT5XO 等 26もの DXpedis で活躍してきた 9V1YC James

4J1FM, XF4M, K7K, K4M, A52A 等の DXpedis で活躍した UA3AB Andrew

大地震と津波で未だ記憶に新しい Andaman 島で DXpedi 中に被災、DXpedi を非常通信に切り替え大活躍した VU2RBI Bharati, VU2DBP Prasad 等等 DXing を楽しんでいる各局なら何枚もの QSLCARD のサービスを受けているに違いない各局のコールサインが並んでいたのである。

他にも DK, W, LA, UA, VR, ZL 等、そして JA からも JA1AN, JA1BK, JA1ELY, JA3AA,

JA3FA(ICOM 代表取締役) JA3IG, JA3UB, JA3USA 等 JA の TOPDXER をはじめ 8 と 0 をのぞく各エリアから多数の参加者が集まった。勿論 MARS 会員の JA3LDH 高井 OM にもお会いした。



JA3LDH K4UEE 9V1YC

日程的にも金土日と 3 日間の充実した催しであった。会場は大阪市天王寺区にある大阪国際交流センター、日頃、我々の医学会でもしばしば利用され、国際的な会議には最適の場所である。何といっても私にとっては HOMEQTH より至近、都合のよいこと限りなかった。

金曜日昼間は ICOM 社の工場見学ツアー、小生も初耳であったが、ICOM 社の新しい工場は和歌山県有田市の南に位置する山の中に出来ているとのこと。金曜日の昼間とて私にはとても参加できる時間帯ではなかった。金曜日夜、WELCOME PARTY が開催された。交流センターは宿泊施設、レストランなども備えており、何より名が示すとおり外国からの訪問者の扱いには慣れたものである。参加は JAs と DXs がほぼ同数の 50 名程で始まった。勿論、挨拶

やら、紹介やら、スナックやら、バンド演奏やらがあったが、きらびやか過ぎず、堅苦しく形式的でもなく、今日集まってきたとは思えぬほど親しくなごやかで気持ちの良い集まりであった。集いの大部分は EYEBALL QSO にあてられた。これは本当に素晴らしいことであった。こんな機会は滅多に無いこと、会話の糸口にとかねて DX 局からせしめた QSLCARD を懐に忍ばせて EYEBALL QSO を始めた。

隣に座っていた KT0F John に話しかけた。先ずはコールサインとニックネームを、そして名刺を出した。「JH3AEF Joe, MD ? あー知ってる、知ってる、お前さん CONTEST で物凄い ACTIVE やろ。」な、なに！そんなことあらへんがな、どないなってんねん、W にもゴマスリはおるんかいな！ と内心では思いながら DXCC のことなど喋っていた。とその向こうの YL さん (XYL?) が VP5/N0WBV の QSLCARD を差し出しながら「もうやったか？」と聞いてきた。「勿論やったよ、カリブで残ってるのは KP5 だけや」と答えると「??」この YL さん KP5 知らんな、.. それにしても KT0F はなんであんなこと言いよったんやろ？一寸待てよ、あのおっさん、JH4UYB MD と勘違いしよったかな??

今度は ANDAMAN Padi の VU のグループの所へ、VU 2 DBP Prasad に「QSLCARD 有難う、NEW ONE だったので大変うれしかった。ところで、あの CARD に写っている人物の中に貴方に良く似た若い青年がいたんだけど、あれ貴方の」まで言ったところで、「THAT'S MY SON」やっばり。続いて隣に座っていた VU2RBI Bharati YL に「CWQSO 有難う、恐ろしい Padi でしたね」返ってきた答えは「へ、へ、へっつ、またやりますよ」本当にこういうふうに笑いました。このおばちゃん、まだこりてない

な!!! GREAT!

続いて ZL3TE, 物凄い大男「この間 QSO 有難う、たしかカードは W へ送れとか言ってましたな」「俺はアメリカ人や」私の QTH はこの会場のすぐ近くだという話から、「こんな BISOY な街中で HAM をやってるのか一寸しんどいんじゃない」など、話しているところへ ON4UN John がやってきた。



KT0F ON4UN JH3AEF

わー、えらい大物が来てくれた、しめしめ！「どの周波数の話や？」と聞くから、「毎日 75、80 の耳の悪さに難儀してまんねん、何か妙案おませんか？」と聞いたら、「あんたの国も狭そうやけど、おれの国も狭いんや」、狭いんやといながら「受信にはヴィバレッジがどうや、おれは 12 本のヴィバレッジを時計方向に張って SW で切り替えて使ってる、場所がなかったら TOWER から斜めに紐をひっぱってそれを支点に VERTICAL の ANT をつるすようにして建て、PHAZED ALLEY にしたら！」「そんな広さもない」と言ったら、丸い肩をすくめていた。お地藏さんそのものといった風貌のおとなしい OM でした。K4UEE は調べてみたら彼の参加した PEDI はやたら多い。QSLCARD を引き出して持って行って声をかけた。実は魂胆がありました。私には来年彼が敢行しようとしている 3 Y の PEDI よりも大事なことがありました。

「ところで、KP5 はいつになったら OPEN するんやろ？」と切り出した。答えは「何時とはまだなかなか、50, 50や、いまいろんな手をつくしている、私もその MEMBER の一人や」とのこと。とにかく「一生懸命 OPEN するようお願いしまっせ、THAT IS ONLY ONE REMAIND-ED」といったら、「OH GRATE REALY, OK OK」でした。ここが私のこの CONVENTION での一番の収穫だったかな。後日談、このミーティング後一ヶ月も経たない12月10日過ぎ、突然Wの二局がKP5島に船で出発した。小型のリニアも携行している。自然保護団体の上陸許可もでていて、とのDX情報が流れた。まさか私の撒いた胡椒が効いたんでもなからうが、余りにもGOOD TIMING。何はさておきBANDCONDXの検討とWATCH。当局には20mか40m、確率が高いのは40mと予測した。予想どおり20mは微かに信号の存否が分かる程度。明朝の40mを狙おうと思いきや、島に当局の監視船が来て即刻退去を勧告されたとの情報。そんな馬鹿な！何とも歯切れの悪い結末に1989年来待ちに待ったONLY ONE REMAIND-EDは逃げて行ってしまいました。余談、1989年の時はJAにMIC CONTROLが付いていてJH3AEF GOOD CONTACTのお墨付きまでいただいたのに、PEDI局のLOGにはNOT ON THE LOGということで、何回にもわたる抗議

でも判定？は覆らなかった、当局にとっては日くつきのONE ENTITYなのです。

JAの局ではJA3FA井上OM(ICOM代表取締役)とお話したこと、これもまた滅多に無い機会と日頃感じている悩みなど、特に75mでの混変調で苦勞していることを等を話した。勿論ICOM社の製品を使っているのだが。

土曜日DX局を中心に京都観光、そして夜は夕食会であったが日程の都合で終日参加できなかった。

日曜日は終日講演会が開催された。講演は通訳なしの英語による講演のため、日本語で行われる講演会のように内容を十分に理解することは困難であったが大阪で、いや日本で開催された恐らく初めての国際的HAM CONVENTIONの雰囲気だけは十二分に堪能することが出来た。当日の演題は以下のとおりであった。

FT5XO DX Pediton	by	9V1YC
Big guns in Russia	by	UA3AB
Russian DX Contest	by	RA3AUU
Low band antenna	by	ON4UN
Asia Pacific Sprint	by	VR2BG
VU4RBI Andaman and Tsunami		
	by	VU2RBI
3Y0X St. Peter Isl DxPediton		
	by	K4UEE

仕事以外は...

JA8JDQ 三部 重雄(北海道)

東條先生から原稿のご依頼を頂いて、「さてどうしたものか？」と、しばし悩みました。と言いますのは、最近無線交信とはしばし遠ざかって

おり、業務日誌はここ1年間空白となっています。かといって、無線とは縁を切っているわけではなく、アンテナも取りあえず健在ですし、今

回新築した自宅の屋上にタワーを建て、CQ を上げる予定です。手付かずの QRP キットも 3-4 個シャック内に転がっております。あと 2 個届く予定です。ということで、今回は無線以外の遊びをちょっと書いてみようと思います。

40 歳代後半から体力にまったく自信がなくなり、今までスポーツとは無縁であった私ですが(小学校後半、中学校時代は体育は全休の虚弱児でした)ふと思ひ立ち、ウォーキングを始めとして色々やってみました。札幌近郊の山歩きも試みました。登りは何とかなるにしても、下りで膝が痛くてどうにもならず 2 年で挫折、今のところ夏は自転車、冬はスキーに落ち着いております。

(夏:自転車)と言いましても始めたのは去年からですが、これがなかなか面白くてどうも嵌ってしまいそうです。いわゆるポタリングという自転車散歩の部類です。幸いなことに札幌近郊には自転車道が整備されており、結構楽しむことが出来ます。移動の便を考えて、手に入れたチャリは”DAHON”というメーカーの折りたたみタイプのもので重さが約 10Kg くらいです。以前山歩きに使用していたハンディ GPS を括りつけトレースデーターを地図ソフトに取り込んでいます。札幌市内の代表的な自転車専用道路は“豊平川サイクリング園路”(11km)、札幌市と



DAHONの折りたたみ自転車

恵庭市を結ぶ“札幌恵庭自転車道路”(21.2Km)などがあり、その他短距離のも含めると市内にかなり点在しており、将来的には札幌市郊外をグルリと取り囲むように整備される予定のようですが、予算不足のためいつになるかは予測不可能です。私のお気に入りのルートは自宅(札幌市西区)から豊平川サイクリング園路を経由して現在北広島市まで開通している札幌恵庭自転車道路です。両者とも遊歩道兼用ですので、全く自転車専用とは行きませんが、少なくとも自動車、バイクは通行禁止ですので、歩行者に気をつければ極めて快適に走ることが出来ます。札幌恵庭自転車道路は専用の陸橋などが整備され一般道路とは 1,2 箇所を除いて全く交叉しておらず、当然信号もありませんので、札幌市東区から北広島市の JR 駅までノンストップで走ることが出来ます。要所所には休憩所が整備されていますので快適です。その他、新川河川敷内の自転車専用道路を経由して前田森林公園、石狩湾、さらに北に行きますと、古い話ですが、昭和 57 年松竹映画「喜びも悲しみも幾年月」の舞台となった石狩灯台にも行くことが出来ます。



札幌恵庭自転車道路と休憩所

昔から地元の間人は冬は自転車に乗りません。ところが、最近雪道でも乗っている人を散見します。地元民(道産子)は自殺行為に近い

と思っているのですが、本州から転居してきた方々はあまり抵抗感がないようです。ちなみに、地元民は冬は雪が降っても傘はさしません。以前は冬になると傘は店頭から消えて販売されていなかったのですが、最近は結構店先で見かけることが多くなりました。これも本州から移住してこられた方々が買い求めるためのようです。我が家では当然、冬になりますと、自転車、傘は物置の奥にしまわれます。ということで、冬期間は自転車散歩は不可能ということになります。



石狩灯台

(冬:スキー)私は生まれも育ちも札幌ですので、他の札幌っ子と同じく小児期よりスキーに親しんでおります。小学校から大学まで冬の体育はスキーが当然の科目として否応なしにやらされました。最近では中学校以降は科目からはずさている学校が増えております。理由のひとつは週休二日制のため時間的に余裕がなくなったこと(夏の水泳も同様です)。次に、学校の体育の授業のため個人的にスキー用具を用意しなければならないことに対する抵抗感(特に本州から転勤でこられた方)などがあります。地元民は冬にはスキーをするものだと疑っておりませんから、当然自宅にはスキーが何台もゴロゴロと転がってます。しかし、最近では若い方のウインタースポーツ離れが進んでおり、また、スキーよりスノーボードが好まれる傾向にあります。

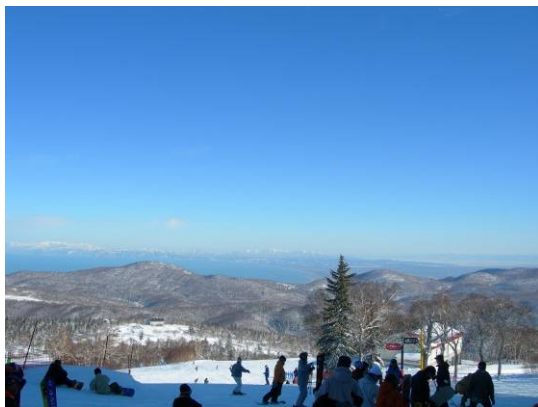
札幌のどこの家庭も似たようなものですが、スキーも自分が学生のころ、また結婚して子供

たちが小さいころは親の務めとしてスキー場に通うのですが時期を過ぎますとパツパツと行くのを止めてしまいます。私の場合もまさしくその通りで、スキーを再開したのは40台後半も50に近くなってからです。最初は昔のスキー板を使っていたのですが、しばらく経ってから現在主流となっているカービングスキーに換えました。写真は昨年までの板ですが、今年は少し短めの板を手に入れ気分次第で変えています。ここ



昨年まで愛用したスキー板

2-3年は少し力を入れ、昨シーズンは30回ほど行っており、休みの日はスキー場が閉鎖されていない限り山に通っておりましたが、これ以上は回数を増やす事はまず無理のようです。札幌は近場ですと地下鉄、バス経由でまた車



定山溪国際スキー場

でしたら 20 分もあればそこそこに滑れるスキー場に行く事が出来ます。また、夜 11 時までナイターをやっているスキー場も郊外にありますので、会社勤めの方などで車に常時スキーを入れておき会社帰りに滑っている方もおられるようです。私の場合はホームゲレンデと言うわけではないのですが、定山溪国際スキー場に行くのが殆どで、スキーロッカーに1台預けっぱなしにしております。このスキー場はコースは多くはないのですが、雪質は抜群で人によってはニセコなぞ問題にならない。と、言っている者もおります。確かに、昨年は春スキー(ゴールデンウィーク)はニセコより良好でした。このスキー場からは晴天の日には石狩湾が一望でき、さらに

は増毛連山の山々が遠くに見ることができ眺望が抜群です。

札幌近郊の山々からは程度の差はありますが、石狩湾を眺める事ができます。スキーの腕の方はご想像に任せますが、札幌で普通に小さい時から普通に滑っているならば SAJ の 3 級クラスはまず特に練習をしなくても合格すると考えていただいてもよろしいのですが、私の場合アマチュア無線の資格には負けております。

とりとめもなく書いてしまいましたが、今年アマチュア無線も新しいシャックで一から始めようと思っております。会員の先生にはご指導いただく事が多いと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

ロボットに寄せる夢

JH3GOB 稲見 修(兵庫県)

今の機械類の発達を期待を持ってみます。今のところ皆様に違和感なく受け入れられている二足歩行のロボット。これに人間を運ぶ能力を早く付けてほしい。足腰の弱くなった人類を部屋から屋外に、そしてエレベーターや自動車に移動する機能が欲しい。室内を行ったり来たりする時に支えて転倒しないサポートを付加できないか。時代に逆行するようだが住居に凹凸がない最近の構造建築を見ていると、はじめは感心していても何となく違和感が発生して、ここに敷居がありそこに台座でもおいたら似合う高みが欲しいとか考え、又床下物置のイメージを昔風の凹みにして貼り付けたら最高の美的感覚のレイアウトが出来るだろうとと考えながら、新しい住宅を見ては余分なことを考え歩いています。

高さの変化のある場所を機械の助けて転倒なしで動けたらぼけ防止にどれだけ役に立つか、動きたいところに気ままに行き来出来る空間を機械の助けを借りてでも作りたい。高齢者が世間体が悪いからと外に出して貰えなくなると急速に体又精神の退化を来す。動くことが出来ればノビノビと回復するような気がします。

入浴介護ロボット、清拭ロボット etc、期待は高まるばかりです。寝たきりになっておしりに大きな褥創が出来ていても一日二、三回水できれいに洗ってあげることが出来たらすぐ治癒傾向になってきます。水という物質の働きは素晴らしいもの。水が体の回りにいつも満ちあふれていたら全て良い環境になります。ちょっと極端かも。しかし呼吸が出来て魚のように水中で生活出来たら高齢の人達にはすごい利益が

いっぱいです。無重力空間です。元気な間は空気呼吸の世の中で生産活動に従事。体が疲れたら水の中で余生を送る。良い考えです。水の中から無線が出来ない。HI！体のどんな部位でも水できれいに出来る。こんな機械が一番の期待です。誰か10リッター前後の水で布団の上で回りに水滴をとばさず体のどの部位でも洗えるロボットをつくらないものか。

TVコマーシャルを見ていると何でもきれいに出来る洗剤や掃除機があります。介護に利用

できる品物は何か見あたりませんか。掃除機は今のところ誤嚥に際しては活躍しています。ただし人間が使用しています。介護ロボットにこの機能が付いたらFB。

これらの他、無線機の操作の手伝いをしてくれたりアンテナタワー建設の手伝いをしてくれる機械も欲しいですね。当分は夢の又夢、しかし期待して努力しましょう。通信を手伝ってくれるロボットも良いですね。SF物語の読み過ぎ、考えすぎの物語でした。

YLワールド2004・イン・ソウル

JH3SQM 郷原 憲一(京都府)

2004年の秋にソウルで第7回世界YL大会が開かれました。93年に大阪で第2回大会が開かれてからアジアでは2回目の大会です。ついでに今年の秋にはインドのムンバイで開かれる予定です。

韓国の女性HAMは日本や諸外国に比べると、若い人が多いので、それだけにバイタリティもあり、OMたちの絶大なサポートもあって、参加者170名、(YL120名OM50名)、YLの大半は地元のHLのYL、JAからも隣ということで、30数名のYLと20名ほどのOMが参加しましたので、盛大で楽しい大会となりました。

再会を喜び合う登録日のロビーは、世界の各地から集まった沢山の友達との熱い抱擁で華やかな熱気に満たされます。歓迎の夕食会は韓国の古典音楽の演奏と歌謡で格調高く始まり、食事のあとに全員の自己紹介が行われました。客人をもてなすことに掛けては日本も顔負けのお国柄ですから、プログラムの内容の充実振りには目を見張るものがありました。



フォーラム

翌朝のYLフォーラムでは、初参加のインドのサラの「次の2006年にはインドのムンバイで・・・」が採択されました。(ボクはこの時間、南大門市場に一人で買い物に出掛けていたので詳しいことは知りません)

フォーラムの後、バスに分乗して北朝鮮との国境を視察に出掛けます。21年前に来た時には北朝鮮軍が侵攻して来たら何時でも爆破出来るように木の橋が架っていて米軍と韓国軍が守っていたのですが、今では立派な鉄橋の上

に南北を結ぶ線路が国境まで敷設してあり、このイムジン川も平和の川に戻っていました。川に沿って下りますと対岸に北朝鮮の国土を臨めます。川の真ん中が国境でその幅は400m、こちら側の堤には輪になった有刺鉄線が張り巡らされ100m置きに夜の保哨の監視小屋が建っていました。漢江との合流点に展望台があり、ジオラマを使って国境の説明を繰り返しています。屋上に大型の望遠鏡が何台も備え付けられてあって、川向こうの北朝鮮の村を覗き観ることができました。

ソウルに戻って食事の後、キッチン・シアターでミュージカルを観劇しました。楽器の代わりに鍋、釜、しゃもじなど台所用品を叩いて行うこのショーは韓国ではとても人気があると。レストランのシェフたちとマネージャーとの間で繰り広げられるコメディ・タッチのミュージカルでした。次の日は朝から市内観光で朝鮮王朝(李朝)の宮殿、景福宮を訪れます。その昔、総督



宮廷女官勢ぞろい

府があった処を整地して復興した王宮で、幾つかの壮麗な門を潜って奥の政庁の御殿や王と王妃の住まいとしての御殿を観て回ります。御殿には立派な調度類も備えてあって王朝時代の風俗を垣間見ることが出来ました、最も奥の裏庭では王朝風俗の衣装を着せてくれる処が

あって、JL1XWR井上喜代さん初めJA1のYLさん達が着せてもらい、雅び姿勢揃いして記念撮影。

バスで移動した街の中の広場でハム・フェスティバルの青空市が開かれていて、私たちは海外からのお客様として大歓迎を受けました。歓迎の大きな横断幕をバックに誰や彼やと一緒に記念写真を撮ります。最後に皆がどンドン集まって来て、大集合の記念写真。「そんなに広がったら入らなくなるゾ・・・」



青空市で

昼食後、ソウルの古い街並みを残している仁寺洞へ。昔風の古書籍店、古美術商、陶磁器店、古道具屋、金属工芸店、中には仮面の専門店という珍しいお店なども並んでいる通りが歩行者天国になっていて家族連れの人々で大賑わい。歩道には色々の出店が出ています。昔懐かしい露天の食べ物屋、飴細工、カルメラ焼き型抜き、栗おこし、朝鮮飴などを目の前で作って売っているので、沢山の人がたかって楽しんでます。東南アジア風の衣装を纏った手品師、パントマイムをやっている女道化師、若者のミュージシャン、盲目の占い師の前には5-60人もの人々が集まって熱心に聴いていました。真っ黒な竹の横笛を吹き鳴らしてる老人からは笛を、古い金属小物店では美しい音の鉄

の風鈴を買いました。

「ジャン、ジャーン」とゆっくりとした銅鑼の音が聞こえてきて、向こうから「左捕盗廳」と書いた大きな幟を先頭に、銅鑼叩き、旗幟持ち。その後朝鮮王朝時代の武官と続き、そして四角い檻に入れられた囚人の護送車、次にお奉行様にあたる長官の乗る輿には、なんと衣装をまとった少年が乗っていました。両班(貴族)の若様といったところでしょうか。写真を撮っているボクを見て手を振る可愛い少年でした。次の女性用の輿には少女が二人、はずかしそうに乗っていました。しんがりはその丈3mはあろうかという大男の力持ちという時代絵巻の行列でした。自由時間一杯撮り回ってバスの待ち受けている処へ急ぎます。

これからコレア・ハウスに韓国舞踊を観に行くのですが、「お土産を買いに連れて欲しい」という声が上がって、そう遠くない南大門市場へ行きます。土曜日の午後なので金曜日の朝や午後に来た時とは全く違う混雑ぶりに「はぐれないで付いてきて下さいネ」とガイドさん、どんどんお目当ての店に直行。「韓国海苔・人参茶、お土産に良いものは何でも揃ってしまう」お店で急いで買い物を済ませます。ボクたちは会の前に来て、ゆっくり、たっぷり買い物を済ませたので眺めるだけです。

コレア・ハウスは前は高級料亭だったのですが、今は専用劇場で舞踊を観せて、専用食堂で洋式のバイキングで食事をさせて御帰り願うという団体用?の施設に変貌していました。時代の要求に従ったということなのでしょう。少し早い目に到着したので奥庭に幾つかある昔風の格調高い離れの建物を見て歩くことが出来ました。劇場では太鼓を叩いての踊り、長い布を振り回しての踊り、大きな扇子を使つての踊りと

韓国の伝統舞踊が華麗に披露されました。残念ながら撮影禁止なので舞妓の美しい舞姿を記録に残せませんでした。プログラムの終了後にロビーで舞妓たちと一緒に記念撮影をする機会があったので皆さんは大騒ぎで撮ってもらっていました。

最後の日は朝、ソウルの南の高層アパートの立ち並ぶ住宅街にあるKCSIの見学から。「電波の利用によって未来の社会は、このように変わる」という沢山の設備を展示したコーナーを見て回ります。次は一転して、過去の遺産としての民俗文化村へ。

ここには幼稚園の子供たちから高校生まで沢山の団体が詰め掛けて来ていて、入り口の大観門の前は大賑わい。ガイドが切符を買っている間に、私たちは陽気で可愛い女子高校生に囲まれて記念撮影で揉みくちや。これから何処に行っても彼女らに出会うと「アニョンハセヨ」と声を掛けられ、とても人懐こい彼女らに取り巻かれて、お互いに笑顔一杯で楽しい交歓の一時を持つこととなります。

園内には昔の茅葺きの大小の農家、瓦葺きの両班(ヤンバン=貴族)の屋敷、小さい廟や孝子門などがあって、数多くの調度品や生活用具、農機具などが集められ、牛、鶏などの家畜、家禽も飼育していました。家の中には等身大の人形があって往時の生活振りを知ることができます。幾つかの家では竹細工、干シカボチャ作り、一刀彫などをしている人達がありました。ここにも王朝衣装の着付けている処があり、道端で朝鮮飴を売っている人もいました。川には筏の上に茅小屋をおいている水上生活者、帆を張った小舟で釣りをしている人形など、昔の素朴な生活が良く理解出来る素敵な民俗村でした。

ホテルに戻って夜のフェアウエル・パーティーに備えます。今回は主催者の方で、民俗衣装を着て欲しいという要望が無かったので、それぞれに気軽な服装で参加したのですが、HLのYLは美しい韓服に、JAのYLの着物姿も何人か、ドイツのローゼルやインドのサラは民俗衣装で決めていました。



皆で踊る

参加者の中で最も若いHLの高校生のYLによる2弦の胡弓の演奏に始まって、主催者のサイさんに引っ張りだされて、鍋やしゃもじを叩くオーケストラに参加します。

各国の出し物では、ノールエイが極地探検の防寒服、デンマークはスルクハット姿でアンデルセンの朗読、スコットランドは恒例のフォークダンス、ドイツは野バラなど日本は定番の「さ

くら、さくら」と「アリラン」を韓国語で歌いました。この間に太鼓と布の舞踊団の踊りが入り、「踊り子たちと一緒に皆で踊ろう」となり、続いてこれも定番の縦のラインダンスとなって会場一杯に踊り回ります。

「そろそろお開きにしましょうか・・・」、最後まで残った者で、ファッション・ショー？、美人？コンテストで、各国から代表？が壇上に上がって適当にクルクル回って後は「記念撮影だ・・・」と大集合して終わりました。



最後に記念撮影

大会の後、海外からの参加者の多数はHLのYLにエスコートされて慶州とチェジュ島へオプショナルの観光に回って、韓国の秋を存分に楽しみました。

人 事

来年度はMARSの役員改選の年に当たります。新年度より新たに役員としてご協力いただける方がおいでしたらご遠慮なく現役員までお申し出下さい。新しいアイデアを取り入れた更に楽しいMARSにしていこうではありませんか。

会員異動

- 入 会 JF1SXY 小方冬樹
東京都中野区
- 退 会 JA3PFZ 河合正昭
大阪府茨木市
(平成 17 年 8 月 死亡)

庶務とMARS ニュース

入・退会、コールサイン、住所の変更などの事務手続きはMARS事務局へ。

(事務局)

〒577-0058 東大阪市足代北1-16-20

東條医院内

日本医師アマチュア無線連盟

電話 06-6781-0076

F A X 06-6781-0078

E-mail jaef.tojo@nifty.com

MARS ニュースへの御寄稿は、

〒640-8331

和歌山市美園町5-1-8山榮ビル3階

眼科田中クリニック内 MARSニュース編集部

電話 073-427-3010

F A X 073-427-2135

E-mail marsnews@tanakaclinic.jp

まで、お送りください。

パソコン(またはワープロ)の場合、再入力の手間を省くため、フロッピーディスクもしくはCD-Rの郵送、またはE-mailでお送りください。特殊記号などが文字化けすることがあり、プリントアウトした原稿もファックスまたは郵送してください。

手書き原稿もOKですが、なるべく上記の方法でお願いします。

写真は紙焼きの郵送でもE-mailでも結構ですが、高画質画像をMOまたはCD-Rに保存してお送り下されると、さらにFBな仕上がりになります。なお、紙面の都合により、原稿を短縮させていただいたり、写真の選択やトリミングをさせていただきますので、ご了承ください。

編集後記

大雪でお困りの皆様には心よりお見舞い申し上げます。

7エリアの庄内平野から就職してきてくれた従業員が、小学生のときは雪が積もっていたのに最近は積雪がほとんど無いと言っておりました。なのに今冬は当局が生まれる前の三八豪雪以来の大雪とのことで、昨秋結婚した彼女も雪は嫌いだと言って年末年始には帰省もせずに避雪しておりました。彼女の職種は視覚障害者生活支援員、白杖を使って視覚障害者に屋外歩行の仕方をお教えするのが主な仕事なのですが、なるほど雪国では冬季には外出自体がままならないので、はるばる南国和歌山までやって来てくれたんだなあと感心することしきりです。

我々は自然のなせる業にはあまりに無抵抗で、電波の飛び具合もビームアンテナを使っても「ナミに一聞け」というよりありません。

間もなく節分、「福は一内、鬼は一外」、電波はどんどん飛んで欲しいけど、近所のTVなんかには侵入して欲しくないですね。

本年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(DE JF3JON)

日本医師アマチュア無線連盟会報

(第62号)

発行：日本医師アマチュア無線連盟

発行日：平成18年1月31日

編集：田中憲児(JF3JON)

印刷：洛西プリント社

TEL075-333-7211 Fax075-333-7212

E-mail:r-print@nyc.odn.ne.jp